

令和3年度 事業報告



社会福祉法人菊川市社会福祉協議会

内 容

I 法人運営	1
II 地域福祉サービス事業	4
III 在宅福祉サービス事業 (住民の生活支援事業)	31
IV 介護保険サービス事業	33
V 障害者総合支援法事業等	35
VI 児童福祉支援活動事業	36

事業報告の概要

社会福祉協議会は、地域福祉を推進する組織として、自治体や目的を共にする様々な活動主体と協働し、住民が地域で支え合う環境づくりを進めるために積極的な役割を果たし、公共福祉サービスや他の民間事業者等では対応し難い人々の生活課題に対する相談支援の充実・強化に努め、福祉を基盤とした「まちづくり」に取り組んできました。

令和3年度も、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、一部事業を中止や縮小した形で実施しました。

地域福祉推進事業については、第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、「地域福祉の推進～つながりの“輪”きくがわ～」を目指して行政と社会福祉協議会、地域が三位一体となって取り組みを進めました。さらに住民相互が地域で支えあう仕組みを構築し、住民あるいは地域団体・組織と協働して、「顔の見える社会福祉協議会」となるよう、活動基盤の環境整備の推進、住民ニーズに応えた事業展開に努めました。

また、令和4年度から始まる「第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定しました。

介護保険事業については、地域で暮らす高齢者等を支える在宅サービスの主たる担い手として、介護サービスの質の向上や効率的な運営に努めました。

各事業所の目標を掲げ、目標達成に向け、積極的な利用者の受入やコスト削減を意識した業務の遂行に努力しました。

また、「きくがわデイサービス ぎおんの里」では、通所介護事業とともに共生型サービスの展開を図りました。

児童館事業では、乳幼児親子から小・中学生、高校生までが気軽に利用でき、親子や大人・子ども同士の「出会いとふれあいの場」となるように自由来館と交流事業を行いました。

子育て支援センター事業は、子どもと育児をする人たち（家庭・地域）を応援し、子育ての不安や悩みの解決、子育て支援活動を目的に各種事業を行い、住民のニーズに応じた事業展開を図りました。

今後、社会福祉協議会がこれらの役割・事業を住民に対し存分に発揮し、住民とともに自助・共助・互助を基本とした『地域の福祉力』の強化に取り組み、開拓性、即応性、柔軟性を活かした事業展開が可能となるよう、社会福祉協議会としての考え方を整理し、将来に対しての方向性も確立させながら取組みを強化していきます。

事業報告書の付属明細書について

この事業報告書を補足すべき重要な事項はないので付属明細書は作成していません。

I 法人運営

事業内容は委託事業や地域福祉事業、介護保険事業など多様化しており、法人としての経営管理が最重要であり、適切な法人運営や事業経営を行うために、コンプライアンス(法令遵守)及び予算準拠に徹し、事業全体の管理や正確な事業執行が把握できる体制整備と将来的に安定した組織強化に努めた。

1 社会福祉協議会の基盤強化

(1) 法人運営

令和3年度法人運営として、理事会を6回、評議員会を4回開催し、監事による会計監査は決算監査、月例会計監査を実施した。

(2) 会員の拡大

令和3年度 会費納入総額 10,741,800円 (令和2年度 10,696,600円)

【内訳】

種類	一口	金額	備考
一般会費	一世帯 @800	9,840,800円	12,301世帯
施設・団体会費	施設会員 @3,000	66,000円	22施設
	団体会員 @1,000	5,000円	5団体
賛助会費	法人会費 @3,000	707,000円	176法人
	個人会費 @1,000	123,000円	95人

(3) 理事会・評議員会の運営

ア 理事会

(第1回)

期 日 令和3年6月9日(水)

方 法 決議の省略

議 案

第1号 社会福祉法人指導監査結果に係る是正・改善計画について

第2号 令和2年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正について

第3号 令和2年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会事業報告の承認について

第4号 令和2年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会決算の承認について

第5号 令和3年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第1次補正予算について

第6号 社会福祉法人菊川市社会福祉協議会令和3年度第1回定時評議員会の開催日程等及び議案等について

(第2回)

期 日 令和3年6月25日(金)

方 法 決議の省略

議 案

第7号 社会福祉法人菊川市社会福祉協議会会長及び副会長の選定について

(第3回)

期 日 令和3年9月15日(水)

方 法 決議の省略

- 報 告
 第 1 号 社会福祉法人菊川市社会福祉協議会会長の職務執行状況の報告について
 協 議
 第 8 号 社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正について
 第 9 号 令和 3 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第 2 次補正予算について
 第 10 号 社会福祉法人菊川市社会福祉協議会令和 3 年度第 2 回評議員会の開催日程等及び議案等について

(第 4 回)

- 期 日 令和 4 年 1 月 20 日 (木)
 方 法 決議の省略
 協 議
 第 11 号 社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正について
 第 12 号 令和 3 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第 3 次補正予算について
 第 13 号 社会福祉法人菊川市社会福祉協議会令和 3 年度第 3 回評議員会の開催日程等及び議案等について

(第 5 回)

- 期 日 令和 4 年 3 月 9 日 (水)
 方 法 決議の省略
 報 告
 第 2 号 社会福祉法人菊川市社会福祉協議会会長の職務執行状況の報告について
 協 議
 第 14 号 社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正について
 第 15 号 令和 3 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第 4 次補正予算の承認について
 第 16 号 令和 4 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会役員等賠償責任保険契約について
 第 17 号 令和 4 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会事業計画の承認について
 第 18 号 令和 4 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会当初予算の承認について
 第 19 号 社会福祉法人菊川市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の選定について
 第 20 号 社会福祉法人菊川市社会福祉協議会令和 3 年度第 4 回評議員会の開催日程等及び議案等について

(第 6 回)

- 期 日 令和 4 年 3 月 28 日 (月)
 方 法 決議の省略
 協 議
 第 21 号 社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正について

イ 評議員会

(第 1 回)

- 期 日 令和 3 年 6 月 25 日 (金)
 方 法 決議の省略
 報 告
 第 1 号 社会福祉法人指導監査結果に係る是正・改善計画について
 第 2 号 社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正について
 協 議
 第 1 号 令和 2 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会事業報告の承認について
 第 2 号 令和 2 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会決算の承認について

第3号 令和3年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第1次補正予算について

(第2回)

期 日 令和3年9月29日(水)

方 法 決議の省略

報 告

第3号 社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正について

協 議

第4号 令和3年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第2次補正予算について

(第3回)

期 日 令和4年1月28日(金)

方 法 決議の省略

報 告

第4号 社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正について

協 議

第5号 令和3年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第3次補正予算の承認について

(第4回)

期 日 令和4年3月17日(木)

方 法 決議の省略

報 告

第5号 社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正について

協 議

第6号 令和3年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第4次補正予算の承認について

第7号 令和4年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会事業計画の承認について

第8号 令和4年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会当初予算の承認について

ウ 監査

①月例監査 毎月25日前後に実施

②決算監査 令和3年5月21日(金)

(4) 実習生等の受入

ア 社会福祉士を目指す学生の実習受入

期間	日数	学校名	人数
8月16日～9月16日	24日間	静岡福祉大学	1名
8月17日～9月9日	17日間	静岡県立大学短期大学部	1名

Ⅱ 地域福祉サービス事業

地域福祉サービス事業は、福祉のまちづくりを基本とした事業を実施するために小地域福祉活動の推進を図った。職員が積極的に地域に出向き、各地区センターを拠点とし、地域住民と一緒にその地域を考え、共に小地域福祉活動を展開する予定であった。

また、地域に住む一人暮らし高齢者等の見守り活動など地域のさまざまな問題やニーズにも敏感に反応し、事業展開につなげていけるよう地域住民や社会福祉事業者と共に地域福祉の推進・充実を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業の規模を縮小したり、中止した事業もあった。

1 地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進評価

(1) 地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会

福祉課と共同事務局を担い、平成 28 年度から 5 年間の「第 3 次菊川市地域福祉計画・地域福祉活動計画」推進評価のための委員会を開催した。また、令和 4 年度からの「第 4 次菊川市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定しました。



「推進委員会の開催」

日にち	内容
令和 3 年 5 月 31 日 (月)	・地域福祉計画・地域福祉活動計画の意義と今後のスケジュールについて ・菊川市の抱える地域課題及び施策体系案について
令和 3 年 7 月 19 日 (月)	・地域福祉計画策定に係る意見シート ・施策体系案及び計画素案について
令和 3 年 10 月 15 日 (金)	・計画素案について
令和 4 年 2 月 14 日 (月) ※書面開催	・計画案及び概要版作成について

2 市民福祉教育の推進事業

(1) 市民社会福祉大学

令和 3 年 11 月 8 日 (月) に中央公民館において、講師「皆本昌尚氏」による「認知症から学ぶ 人生を心豊かに暮らす秘訣」を演題として、WEB 講演会を開催しました。参加者は 48 人であり、アンケートを行ったところ、満足、やや満足が多数でありました。

(2) みんなのしあわせ懇談会

今年度は 4 回開催する計画でしたが、第 1 回を 7 月 8 日に開催し、あいのりタクシー 買い物バス等について協議しました。第 2 回は中止、第 3 回は 12 月 9 日に開催し、移動

支援について協議しました。第4回は、書面にて今年度の報告を行いました。

(3) 地域福祉教育実践校助成事業

小・中学校及び高等学校の児童生徒に対し、地域住民との関わりを持った福祉教育を、学校と連携しながら幅広く福祉学習の機会を提供することや、地域と関わりを持ち、社会福祉への理解と関心を高めることを目的に、市内9小学校、4中学校、1高等学校に助成金を交付するとともに、福祉教育に関する相談・プログラムの提供と調整・打ち合わせ等に関わり各校の取り組みを支援した。

3 小地域福祉活動の推進事業

(1) 地域福祉推進基礎組織育成事業

地域福祉を推進し、地域のニーズを地域で解決していくための地域福祉推進基礎組織の育成を図ることを目的に、各地区のコミュニティ協議会に地域福祉の推進を図る部会を設置して地域福祉推進基礎組織の育成を図る予定でしたが、昨年度と同じく新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業がほとんど実施されなかった。

① 各地区の取り組み

ア 西方地区

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で高齢者サロンは中止とした。

今年度も引き続き、堀之内小学校6年生児童への卒業祝いにコサージュを制作した。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施していきたい。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	5回開催	—
公文名サロン 堀田サロン 堀之内サロン 沢田サロン 田ヶ谷サロン 堀之内サロン	中止	—
コサージュ制作	1月～2月 4回	

イ 町部地区

町部地区を3つの地域に分け、高齢者のふれあいいきいきサロンを実施してきたが、サポーターの高齢化により解散してしまった。

各自治会で小さな体操を主に行う集まりは実施されているので、見守っていきたい。

ウ 加茂地区

サロン活動として、ゆうゆうサロン、小川端サロン、白岩下サロン、白岩段サロン、白岩東抛り所、三軒家憩の場、長池くつろぎサロンが引き続き実施された。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業もあった。

今まで行って来たしめ飾りを一人暮らし高齢者に届ける企画に関しては、材料の調達が難しかったり、しめ縄を作れる人が減少、協力して下さっていた小学生の協力が難しくなった為、中止とした。令和4年度は部会にて話し合いを行い、別の形を考えていくこととなっている。

内容・実施状況・参加人数

内容	時期・開催回数	中止回数
生き生き部会	10.12.3月・3回	3回
ゆうゆうサロン（加茂地区全体）	毎週水曜日・22回	26回
小川端サロン （対象：80歳以上、ひとり暮らし高齢者、日中ひとり暮らしの高齢者）	12月・1回	2回
白岩下サロン（対象：77歳以上）	10.12月・2回	2回
白岩段サロン楽楽クラブ （対象：70歳以上）	7.10月・2回	1回
白岩東抛り所（対象：白岩東自治会住民）	毎月第一水曜日・11回	1回
三軒家憩の場（対象：三軒家自治会住民）	毎月第一火曜日・11回	1回
長池くつろぎの会	毎月第一金曜日・5回	6回
しめ飾りをひとり暮らし高齢者に届ける企画	中止	0回

エ 内田地区

徳々サロンとひだまりの会サロンが開催された。

「徳々サロン」は東平尾、平尾、西平尾の3地区が対象、「ひだまりの会サロン」は内田全地域の一人暮らし高齢者の方、日中一人の方等を対象とし、レクリエーションやおしゃべりなど、昼食も含め楽しい時間を過ごす予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためほとんどが中止となった。

代表の高齢化により、東平尾サロンが解散、平尾サロンは代表の負担が大きく休止状態となった。

また、福祉部会では内田地区全体としての地域福祉の在り方についての協議や、研修を行う予定だったが、コロナの為中止となった。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
福祉部会		—
地域サポーター会議	9回開催	—
徳々サロン【東平尾】(東平尾公民館)	5月17日(月) 7月26日(月) 11月8日(月)	—
徳々サロン【平尾】(西平尾公民館)	6月3日(木) 11月16日(火)	—
徳々サロン【西平尾】(西平尾公民館)	11月26日(金)	—
ひだまりの会(内田地区センター)	11月16日(火)	—

オ 横地地区

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、七重会配食事業の配達は5月のみ行った。調理室が利用できないため弁当は作らず、市内の飲食店の弁当を七重会の会員が自分の地区の受給者へ配布した。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	2回開催	—
七重会配食	1回開催	—
横地いきいきサロンへの参加	中止	—
横地地区センターまつりへの参加(バザー販売)	11月14日(日)	

カ 六郷地区

六郷まちづくり協議会地域福祉部会の活動は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が全て中止となった。時間通貨「おたがいさま」の全体活動は行われなかったが、個

別の助け合いは続いている。サロン活動も休止の状態が続いている。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
ろくごうの集い	中止	
青空サロン	中止	
ひばりの会	中止	

キ 河城地区

和田、沢水加、東富田、西富田、上倉沢、吉沢、潮海寺、友田の8地区の高齢者サロンでは、新型コロナウイルス感染症の感染対策をとりながら実施したサロンもあるが、多くの集まりの場は中止となった。

河城コミュニティ協議会の健康福祉部としての行事は全て中止となり、部会の集まりもなかった。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
和田おたっしやクラブ	4月 11日(日)	32名
	6月 8日(火)	27名
	7月 7日(水)	28名
	9月 20日(月)	
	11月 14日(日)	
	12月 19日(日)	36名
上倉沢ふれあいサロン	7月 9日(金)	
東富田ふれあいサロン	開催なし	
西富田ふれあいサロン	4月 3日(土)	
	12月 11日(土)	
沢水加いきいきサロン	開催なし	
吉沢あじさいの会	7月 24日(土)	
潮海寺もみじの会	6月 19日(日)	22名
	7月 30日(金)	20名
	8月 4日(水)	17名
	10月 22日(金)	17名
	11月 20日(土)	19名
	12月 24日(金)	20名
	1月 6日(木)	14名
	2月 8日(火)	17名
3月 22日(火)	13名	
友田有志会	開催なし	

ク 平川地区

(ア) CART ひらかわサポーター

19名の地域サポーターが、平川地区にお住まいの一人暮らし高齢者・日中独居（75歳以上）現在10名の見守り活動を随時行った。この活動は、日常的な見守りが必要な人のちょっとした変化や異変に気づくことが重要であり、各担当地区の民生委員・児童委員、地域住民（近隣）の御協力を得て実施している。

また、高齢者が、安全・安心を確保することを目的に、万一の救急時に救命作業を敏速に行うために備える、救急医療情報キットの配布に努め、現在215名に配布し、地域普及活動をしているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	4/15(木)・12/15(水)	15～17名
ふるさと夏まつり小笠への参加	中止	
ふれあい広場への参加	中止	
ひらかわ会館まつりへの参加	11/13(土) (展示のみ)	
代官屋敷梅まつり	2/6(日)梅まつり	
平川地区の見守り運動	随時	
救急医療情報キットの普及	中止	
堤サロン (堤公会堂)	中止	名



(イ) おもしろがってサロン

16名の地域サポーターが、ひらかわ会館において、高齢者の居場所づくりとなるサロンを、新型コロナウイルス感染対策を取りながら1回開催した。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
おもしろがってサロン	12/7 (火)	36名 午前 18名 午後 18名

ふるさと夏まつり小笠への参加	中止	
ひらかわ会館まつりへの参加	11/13(土) (展示のみ)	名

おもしろがってサロン



ケ 嶺田地区

23名の地域サポーター（サポーターみねだ）と民生児童委員等が中心となってみねだ会館を拠点に小地域福祉活動を展開した。

「地の神様で地域づくり」では、地域から参加者を募り地域間と世代間交流を行った。

「みねだおげんき会」は、ふた部屋にわけ、前半はボッチャ、後半は長谷川市長の講演会を行いました。

「災害時にも使える福祉見守りマップづくり」では、自治会長や防災委員に参加を呼び掛け、地域で福祉的な見守り支援や災害時に支援の必要のある方を確認し、各自治会単位で見守りマップを更新した。

「ふれあい節分」では、「節分テイクアウト」とし、福豆・お菓子をドライブスルー方式で配布しました。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	10回開催	—
災害時にも使える福祉見守りマップ更新作業	堂山 7/11（日） 中嶺田 7/25（日） 大石 7/18（日） 東嶺田 7/11（日） 西嶺田 7/25（日） 西ヶ崎 8/1（日）	16名 12名 16名 20名 12名 8名
みねだおげんき会（高齢者サロン）	12/16（木）	—
地の神様で地域づくり	11/14（日）	30名
ふれあい節分	2/6（日）	150袋
地域講演会	中止	名



コ 小笠南地区

「家事援助サービス事業」を実施し、地域に住まわれる支援が必要な方に対する、家事における簡易な困りごとの支援を継続して行った。

「地域福祉講演会」は、中止した。

その他、出前サロンを2回実施しました。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
出前サロン	2回開催	—
地の神様作り	12/2（木）	12名
ふるさと夏まつり小笠への参加	中止	
正月飾りづくり	中止	
地域福祉講演会	中止	
みんなみだよりの発行	年間12回発行80～90部/1回	—

サ 小笠東地区

福祉見守りマップは、くすりん全室を使用して行った。

また、福祉講演会の代わりに、「原子力防災センター」にサポーターが視察をした。

その他の行事は中止となりました。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	4回開催	—
福祉見守りマップ更新作業	7/4（日）	
福祉講演会（視察研修）	12/10（金）	10名
地の神様で地域づくり	中止	
くすりん豆まきの会	中止	
お花見歩こう会	中止	
おかえりなさいコール運動	毎月第2水曜日	
認知症予防講座（平成29年1月～）	毎月第1・3水曜日	—
ボランティアサロン	毎月第2・4金曜日	—

福祉見守りマップ



(2) 生活支援コーディネーター事業

各日常生活圏域に1名ずつ生活支援コーディネーターを配置し、地域における①資源開発、②ネットワーク構築、③ニーズと取り組みのマッチングを行った。また、生活支援等サービス体制整備のために多様な主体による定期的な協議の場として協議体を設置し、情報共有及び連携・協働の推進を図った。

コロナ禍の中、地域に出向いて「居場所・買い物・移動・草刈り」に関するニーズの把握に努めるとともに、住民と地域とのつながりをコーディネートするよう努めた。担い手については、各養成講座を開催した。

居場所の立ち上げについては、モデル的に開催してきている「まちの居場所」で昨年に引き続き居場所の住人、また新たに送迎にボランティア（ヘルプマン）の力を借りた。また地域の居場所については、昨年度から開所している居場所の継続支援を行うとともに、居場所開所の検討を行っている地域への働きかけを行った。買い物支援・移動支援については、あいのりタクシー事業のPR、情報提供、説明に努めた。

(ア) 生活支援

事業目標	活動内容
ニーズ把握	<p>① PR【活動の周知】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターチラシを作成し情報発信 地域に出向く際使用 その他 <p>② 地域に出向き情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ニーズの把握 随時 <p>各地域を訪問した中で、買い物、移動、居場所についてのニーズが多くそれらの課題を解決するために取り組んだ。</p> <p>③ よろず屋(移動相談会) →中止</p>
地域資源の開発	<p>① 地域資源の把握【見える化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイルの充実 各中学校区別にファイルを用意し、把握した情報を記入 <p>② 地域包括支援センターとの意見交換</p> <p>生活支援コーディネーターの現状報告を踏まえた意見交換 令和3年度なし</p> <p>③ ケアマネジャーとの意見交換等</p> <p>連絡会：令和3年12月23日(木)</p> <p>④ 地域資源では対応しきれない生活ニーズについて協議体につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 草刈りボランティア

事業目標	活動内容
活動担い手育成	<p>① 「傾聴ボランティア育成講座」</p> <p>日 時 令和3年12月15日(水) 午後1時30分から午後3時30分</p> <p>会 場 六郷地区センター</p> <p>講 師 古井 慶治氏 (ふるい後見事務所認定社会福祉士)</p> <p>参加人数 21名</p> <p>② ヘルプマンミーティング</p> <p>・実際の担い手(訪問傾聴ボランティア)を対象にミーティングを開催(年2回)</p> <p>第一回目: 令和3年6月22日(火)</p> <p>第二回目: 令和3年6月25日(金)</p>
ネットワーク化の推進	<p>① 各地区コミュニティ協議会との連携</p> <p>各地域のコミュニティセンターに訪問し、連携を図りました。</p> <p>地区社協との情報交換、情報提供を行いました。</p>

(イ) 協議体(第1層みんなのしあわせ懇談会)

開催日	議題
第1回 令和3年7月 8日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2層みんなのしあわせ懇談会について ・あいのりタクシー、買い物バス ・草刈り
第2回 令和3年9月 16日(木)	緊急事態宣言発令のため延期
第3回 令和3年12月 9日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援について 買い物支援、あいのりタクシー、コミタク、とくし丸
第4回 令和4年3月 10日(木)	まん延防止措置延長のため、書面にて今年度の報告

(ウ) 居場所

常駐型居場所モデル
<p>① 地域に出向き情報収集 随時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まちの居場所」を開催 <p>日時: 毎月第2・4木曜日 午前10時~午後3時</p>

場所：東部ふれあいプラザ ※居場所の住人をヘルプマン、運転ボランティアの関わりあり ② 継続支援 2 地区センター（小笠東・小笠南）、5 自治会（佐栗谷・堂山・花水木・上本所・上本所団地） ③新規検討 1 地区センター（西方）
寺・空き家活用モデル
① 地域に出向き情報収集 随時 ② 継続支援 またきてカフェ in 報恩寺（町部）

(エ) 買い物

あいのりタクシー事業
① 地域に出向き情報収集 随時 令和3年度→利用者なし
社会資源活用モデル
① 地域に出向き情報収集 随時 ② 継続支援 ・買い物バスの実施（奥の谷自治会） ・移動販売車 情報提供および現状把握 ③ 情報提供

(オ) 移動

居場所・サロンサポートモデル
① 地域に出向き情報収集 随時 ② 検討・実施 まちの居場所での運転ボランティア
その他
① 地域に出向き情報収集 随時 ② 検討・実施

(カ) 情報

事業目標	活動内容
情報交換	① 情報交換会（中止） ② 連携・協力

(3) ふれあい健康づくり

各地域において、レクリエーションができる指導者の育成、レクリエーション技術の演習を通じて、サポートできる実践者のスキルアップのためのレクリエーション講座を開催した。



開催日時

回	開催日	講師	参加人数
1	令和3年9月7日(月) 午後1時30分～3時30分	島田市レクリエーション協会 事務局長 青野 宏子 氏	29名
2	令和3年10月1日(木) 午後1時30分～3時30分		32名

場所 菊川市総合保健福祉センタープラザけやき 201 会議室

(4) 地域巡回型介護レクリエーション予防出前講座

ふれあい健康づくり事業として、健康でいきいきとした生活を送るために、市内の各地区にある老人クラブ(単位老人クラブ)、地域サロン、自治会に出向き体操やレクリエーション等の健康予防講座を実施した。

また、高齢者のサポート活動をする上で必要なレクリエーション活動の取り組みをレクリエーション活動登録者(20名)と共に地域に出向き実施した。



講座開催状況

	参加者	内容
出前講座 (キャラバンメイト)	43名	認知症サポーター養成講座
地域巡回型介護レク予防 出前講座	93名 (男性20名 女性62名 スタッフ11名)	自宅でも気軽に実践できる健康体操 レクリエーション

	参加者	内 容
レクリエーション活動登録者同伴 出前講座	269名 (男性 62名 女性 159名 スタッフ 48名)	高齢者のサポート活動 レクリエーション

4 広報・啓発事業

(1) 広報活動事業

地域福祉推進への意識啓発を目的に「社協だより」「ホームページ」「ブログ」「市広報」等を通じ多面的に展開した。また、よりよい広報活動を展開するために、広報モニターを設け、それぞれにアンケート調査を実施し、アンケートやモニター会議で出された意見を参考にわかりやすい広報活動に努めた。

- ① 社協だより 発行回数 月1回 計12回 発行部数 15,700部/月
- ② ホームページの運営及びブログによる情報発信

(2) ふれあい広場

令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(3) 菊川市社会福祉大会開催事業

近年、私たちをとりまく環境は、困窮・貧困、虐待、孤立死、自殺、DV（家庭内暴力）被害、ひきこもりなど、なかなか解決には至らない深刻な福祉・生活問題が存在しており、既存の社会保障・社会福祉制度では十分に対応しきれていないことは多くの人を感じているところである。また、近年日本に各地で地震や集中豪雨などが頻発し、突然の自然災害に備え、防災対策の必要性がこれまで以上に認識され、地域住民による様々な取り組みが行われている。

このように、誰もが安心していきいき暮らすことができる菊川市の実現に向けて、若者も高齢者も全ての人々が自助・共助・公助の下に持てる知恵と能力を結集し、地域力を高めるために開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

表彰者については、直接記念品や感謝状をお届けしました。

(4) 障がい者理解普及啓発事業

① インター前花壇の花植え

障がいに対する理解を深めることを目的に、社会福祉法人草笛の会の協力において行った。また、年間をとおして、水かけボランティアと協力し、草取りや水かけを行った。

【第1回】

日 時 令和3年6月15、17、22、24日の4日間
場 所 東名菊川インター
協 力 社会福祉法人草笛の会かすが、おっ撮りカメラ隊
後 援 菊川市

【第2回】

日 時 令和3年12月10日（金）午前9時30分から午前11時00分
場 所 東名菊川インター
協 力 社会福祉法人草笛の会かすが、NEXCO中日本、おっとりカメラ隊
後 援 菊川市

② グラウンドゴルフ交流会

菊川市内の精神障がい当事者の交流を深め、地域移行・地域定着の促進を図ることを目的に行う予定でしたが、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(5) 共同募金運動推進事業

① ふれあい広場会場にて共同募金運動の普及活動

③ 住民参加による共同募金配分（地域福祉活動等支援助成事業審査会）

④ 歳末たすけあい募金配分金事業（配分決定世帯 45 世帯）

申請方式による配分金配布を行う歳末たすけあい募金配分金事業を施行している。お寄せいただいた歳末たすけあい募金を、一人暮らしの高齢者世帯や母子家庭など援助を必要としている世帯へ、「あたたかくお正月を迎えていただけるように」と配分した。

⑤ 歳末たすけあい募金助成事業（事業所利用者 134 人 事業所 6ヶ所）

障害者自立支援法に規定する就労継続支援B型事業所（以下、事業所）の工賃が低く利用者の生活も大変であるという現状を踏まえ、歳末たすけあい運動の趣旨に基づき、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるように、事業所に通う菊川市に住所を有する方と事業所に対し助成を行った。

(6) 大規模災害被災時対応訓練

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

(7) 権利擁護推進事業

掛川市、御前崎市、菊川市の3市行政と社会福祉協議会、専門職による「東遠地域市民後見人養成推進委員会」を開催した。

ア 東遠地域市民後見人養成推進委員会

回	月 日	内 容
第1回	令和3年5月10日（月）	中核機関設置に向けた検討事項について
第2回	令和3年7月12日（月）	中核機関設置に向けた検討事項について
第3回	令和3年9月17日（金）	中核機関設置に向けた検討事項について
第4回	令和3年11月15日（月）	中核機関の機能について、3市の協定について、要綱について

第5回	令和4年2月9日(水)	第2期生市民後見人推薦名簿登録審査(菊川市2名)、3市の協定について、要綱について、家庭裁判所との意見交換について
-----	-------------	---

(8) 菊川市慰霊祭開催事業

菊川市慰霊祭の開催。各戦役事変により殉ぜられた菊川地区御英霊 832 柱、小笠地区御英霊 488 柱の慰霊祭を仏式にて執り行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模縮小、合同開催としました。

日 時 令和3年9月30日(木) 午前10時00分～

会 場 JAやすらぎホール雅

参列者 20名

(祭主・主催者3名、ご遺族菊川地区3名、小笠地区3名、来賓3名、僧侶2名、社協職員2名 福祉課職員3名、写真ボランティア1名)



5 総合相談及び生活支援事業

(1) 福祉総合相談事業

複雑かつ多様化する福祉ニーズに応じた総合的な相談事業を実施し、来所及び電話相談を受け付けた。

また、必要に応じて関係機関との連携を図り、継続的な支援を行った。

相談日時 月～金 午前8時15分～午後5時00分

相談場所 プラザけやき

相談員 社会福祉協議会職員(福祉総合相談員)

相談件数 121件 (令和2年度 116件)

(2) 心配ごと相談事業

毎月4回相談日を設け、来所による相談を実施した。家族に関する相談を始め、医療、生計など、多岐にわたる相談に対応した。

また、相談員の資質向上のため、相談員研修会を2回開催する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

相談日時 毎月4回 原則1日、20日 午前9時00分～正午

5日、15日 午後1時00分～午後4時00分

※休日と重なった場合は、次の平日に開催。ただし、会場の都合により変更有。

場 所 プラザけやき(1日、15日) 中央公民館(5日、20日)

相談員 民生委員児童委員12名 人権擁護委員8名 行政相談委員2名

相談件数 23件(令和2年度29件)

		令和3年度		令和2年度	
		プラザけやき	中央公民館	プラザけやき	中央公民館
相談件数		14件	9件	10件	19件
処理 状況	解決	1件	3件	1件	0件
	再来	2件	0件	1件	24件
	民生委員	0件	1件	1件	0件
	他機関	2件	10件	7件	14件
	その他	6件	5件	5件	10件

(3) 結婚相談事業

毎月2回の結婚相談日を設け、結婚相談所登録者からの相談に応じた。

また、月1回の定例会と年4回の四市一町結婚相談員連絡会においては、結婚相談員同士の情報交換や意見交換を行った。(菊川市、磐田市、袋井市、掛川市、森町)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3回中止とした。

同時に各市町担当者間の連携を図り、よりよい結婚相談所の運営に努めた。

相談場所 プラザけやき
 相談日時 毎月第1金曜日 午後6時00分～午後9時00分
 毎月第3日曜日 午前9時00分～正午
 相談員 10名（1回の相談を2名で対応）
 任期 令和3年9月1日～令和6年8月31日

相談実績

	令和3年度	令和2年度
	プラザけやき	プラザけやき
延開催回数	14回	22回
登録者数	72名（男性55・女性17）	72名（男性54・女性18）
相談日受付件数	139件	169件
相談日外活動件数	198件	225件
見合い設定件数	66件	86件
結婚成立件数	0名	女性2名 男性1名
市結婚相談員連絡会	10回	12回
4市結婚相談員連絡会	1回	3回

(4) 生活福祉資金貸付事務及び相談支援

生活に困窮している世帯などを対象に、低利な資金を貸し付けることにより、世帯の経済的自立を支援した。

新規貸付件数

貸付資金種別		令和3年度	令和2年度
総合支援資金	生活支援費	162件	235件
	住宅入居費	0件	0件
	一時生活再建費	0件	0件
緊急小口資金		179件	464件
臨時特例つなぎ資金		0件	0件
福祉資金		0件	0件
教育支援資金		0件	0件
計		341件	699件

(5) 小口資金貸付事業

生活資金が一時的に欠乏し、生活が困窮状態にあると認められる者を対象に貸付を行った。

<貸付件数>

貸付資金種別	令和3年度	令和2年度
小口資金	6件	8件

(6) セーフティネット支援ネットワーク事業

地域において、既存制度では対応できない人、制度の狭間にいる人、生活困窮から必要なサービスを受けられない人及び重複した生活課題を抱える人等の支援を必要とする人々に対し、菊川市内の社会福祉関係機関が連携し、継続的な相談支援を行なうとともに、必要に応じて経済的援助を行ない、自立した生活を支援するためにネットワーク構築をし、会議にて事例検討を行った。

(7) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等自分ひとりで大切な事柄の決定をすることに不安を感じている人に対して、福祉サービスの利用援助や利用料の支払い援助等を行えるよう利用者、県社協そして本会との3者契約により生活支援員による支援サービスを提供した。

<相談件数・利用者数>

	令和3年度	令和2年度
相談件数	249件	259件
利用契約者	11名	9名

(8) 安心見守りサービス事業

金銭管理が上手くできないなど、生活上何らかの不安がある人に対して、定期的な見守りや福祉サービスの利用に関する相談に応じ、料金の支払いや日常の金銭管理等をしたりすることで、できるだけ自立して地域で生活が送れるように支援した。

<利用者数>

	令和3年度	令和2年度
利用契約者	11名	9名

(9) 自立相談支援事業（生活困窮者自立支援法事業）

ア 自立相談支援事業

本人、家族、関係機関等から生活困窮状態に関する相談を受け付けた。経済的困窮や病気を抱えている相談があった。

抱えている課題を分析し、継続的な支援が必要となった場合は、それを解決できるようなプランを策定した。

計画に基づく各種支援が包括的に行われるよう、関係機関の参加による支援調整会議を毎月開催した。

新型コロナウイルスの影響による収入減少などの相談が急増した。

<相談件数・利用者数>

	令和3年度	令和2年度
新規相談受付件数（本人同意なしを含む）	213件	542件
新規相談申込件数（本人同意ありのみ）	10件	27件
プラン策定前自立	3件	20件
前年度支援継続件数	11件	8件
支援決定・確認件数(再プランを含む)	8件	11件
支援終了者件数	5件	5件

イ 家計相談支援事業

生活困窮状態に関する相談支援の利用者で、1人では上手くお金を使うことができない人に対し、家計を管理するための助言を提供したり、さまざまな支援につないだりすることで、自ら家計を管理できるようになるために一緒に収支を確認するなどの支援を行った。

<利用者数>

	令和3年度	令和2年度
家計相談支援利用者数	3名	2名

(10)非常時あんしん対策事業

自然災害や市民生活に不安を及ぼす不測の事態に備え、市民の安心とボランティアや職員等が安心して活動できるよう、そして、平常時には生活困窮者等へ提供できるよう食料等の備蓄を行った。

また、食料等については、フードバンクふじのくにのフードドライブという市民等からの食料寄贈の取り組みに協力し、それにあわせて、市内関係者とネットワークづくりも行った。

フードドライブへの協力

	時期
第1回	8月
第2回	1月

(11)「ひきこもり」問題に社会福祉施設・団体の連携での取り組み

「ひきこもり」の問題を抱える当事者やその家族に対し、相談や支援を行った。

ア ひきこもり・不登校相談

ひきこもりや不登校についての本人・家族等の相談に応じた。

相談件数 50件

イ 中間的就労の支援

昨年度に引き続き、ひきこもりになっている方が福祉施設での就労体験につながっており、継続できた。

相談件数 0件

就労体験利用者実人数 1名

ウ 居場所づくり

ひきこもりになっている方等の居場所づくりとして、プラザけやきにおいて、軽作業を行った。

24回（月2回）

エ ふらっとスペース

東遠地区生活支援センターとの共催にて、発達障がい等によりひきこもりがちな方を対象とした居場所を開設した。

15回（令和3年12月から月2回程度）

6 福祉サービス事業

(1) 福祉有償運送事業

菊川市に在住する身体の不自由な高齢者、身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者で、移送手段を確保することが困難なため、医療、福祉施設等本人が希望するサービスの利用や外出等が困難な人に対して、福祉有償運送事業を実施した。

令和3年度 運行実績（R2実績 1,186件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	113	109	136	112	140	131	132	141	157	134	121	164	1,590

(2) 特殊寝台貸出事業及び福祉用具貸出事業

福祉用具の貸与を行った。高齢者から若年者まで、幅広い年齢層で利用があった。地域包括支援センターや病院、ケアマネジャー等の関係機関からの問い合わせや紹介も多数あった。

《年間利用実績》

貸与機種	貸付台数	
	令和3年度	令和2年度
介護用ベッド	18台	24台
車椅子	139台	66台
リクライニング車椅子	15台	18台
シャワーチェアー	10脚	9脚
浴槽内イス、バスボード	2台	2台
浴槽手すり	5台	6台
歩行器・歩行車	11台	12台
歩行杖	1本	6本
ポータブルトイレ	25台	27台
その他（スロープ）	16台	33台

(3) 福祉車両の貸出

公共交通機関を利用することが困難な障がい者(車いす生活者、高齢者)の病院、施設への送迎及び社会参加の為に特殊車両(スロープ、リフト付)の貸出を行い、94名が利用された。

令和3年度福祉車両貸出実績 (R2実績 454件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	49	44	58	44	51	39	36	30	42	25	41	48	507

(4) 視覚障がい者外出支援事業

菊川市内に居住する重度視覚障がい者が、菊川市身体障害者福祉会及び視覚障がい者部会の会議、旅行等の行事にて外出の際、障がい者から申請を受け派遣し、福祉の増進を図った。

総派遣人数 1名 (令和3年度 3名)

派遣時間 3.0時間 (令和3年度 7.5時間)

重度視覚障がい者ガイドヘルパー登録者 11名

(5) レクリエーション用具等貸出

市民が集う場がより楽しく交流できる場となるように、貸出用のレクリエーション用品(48種類)を整え、貸し出しを行った。

今後も市民からの要望を取り入れ、より多くの方々に楽しんで頂けるようなレクリエーション用品の貸出しを行う。

令和3年度貸出件数 77件 (令和2年度実績 96件)

7 補助金及び助成金交付事業

(1) 補助金等交付事業

- ア 菊川市遺族会
- イ 菊川市手をつなぐ育成会
- ウ 菊川市身体障害者福祉会

(2) 地域福祉活動等支援助成事業

菊川市内の福祉的な課題に取り組んでいる当事者組織や、地域で福祉活動や市民活動を実施しているボランティア・市民活動団体、先駆的・開発的な事業をおこなうグループなどに対し、共同募金の配分金を財源に予算の範囲内において、地域における福祉活動を支援することを目的に助成金の交付を行った。また交付対象者を厳正かつ公正に審査するため、本会評議員6名とオブザーバー1名（静岡福祉文化実践研究所 平田 厚氏）による審査会を书面決議にて実施した。

助成団体 35 団体 2,943,000 円
(令和2年度 35 団体 2,772,000 円)

(3) ボランティアグループ等助成事業

- ア 菊川市手話通訳者協議会

(4) 菊川市民生委員児童委員協議会事務局

民生委員・児童委員と連携をし、地域福祉の推進を図った。菊川市民生委員児童委員協議会（菊川市、菊川東地区、菊川西地区、小笠地区）事務局として、総会及び定例会等の運営支援を行った。

8 ボランティア活動の推進事業

(1) ボランティアセンター運営事業

ボランティア活動の一層の推進を図り、地域住民の地域福祉への参加を進めることは、お互いが支えあう地域社会を構築していくために欠かせないものである。

ボランティアの養成・研修を行い、ボランティア活動者の育成を図るとともに、一般住民への啓発、ボランティアの登録、需給調整、ボランティア活動の円滑な推進のための情報収集と提供、ボランティアグループや市民からの活動に関する相談受付、ボランティア相互の連絡調整等を行うことによりボランティア活動推進に努めた。

① ボランティアの相談、登録、需給調整

<実績>

令和3年度	令和2年度
13 件	52 件

② ボランティア保険加入促進

安心してボランティア活動に取り組むための保険について、社協だよりやホームページを活用し、広報や情報提供を行った。

ア	ボランティア活動保険（その他グループ、個人）	計 825 名
	（保険金請求件数 5 件）	
イ	ボランティア活動保険天災タイプ	計 31 名
	（保険金請求件数 0 件）	
ウ	福祉サービス総合保険	4 件
	（保険金請求件数 0 件）	
エ	送迎サービス補償	1 件
オ	ボランティア行事保険	12 団体 64 件

③ ボランティアグループの育成・支援

各グループの活動において、必要に応じて以下のような関わりを持った。

- ア 外部からのニーズ（ボランティア参加や活動依頼等）とグループ間との調整を行った。
- イ ボランティアグループの行う事業に対し、演奏ボランティア等の調整を行った。
- ウ ボランティアグループにおけるボランティア募集の調整を行った。
- エ ボランティアグループの運営上の課題や問題に関する相談に応じた。
- オ ボランティアグループの研修先の連絡調整、研修の紹介を行った。
- カ ボランティアグループの活動について広報、ボランティアの調整を行った。
- キ 必要に応じてボランティアグループの会議に参加した。
- ク 活動資金、機材を必要とするグループに企業、財団等の助成金情報を提供した。

④ ボランティア連絡協議会「ゆう&あい菊川」への支援

事業推進のための関係機関との連絡調整や情報提供を行った。

ア	理事会	年 6 回開催
イ	総会	令和 3 年 4 月 9 日（金）プラザけやき ボランティア室
ウ	交流研修会	中止
エ	講演会	中止
オ	交流会	中止

⑤ 児童生徒のボランティア活動

菊川市教育委員会ボランティア活動支援センターと協働・協力し、8年目となる次の事業を行った。

- ア ボランティア担当者会（主催：菊川市教育委員会）への参加
中止 資料のみ配布
- イ 「ボランティア学習会」の開催 今年度は開催無し

- ⑥ 情報交換会・連絡会などへの参加
・市民活動支援センター連絡会→令和3年度は開催なし

⑦ その他

- ア 市内福祉施設・地域高齢者サロンへのボランティア(主に趣味を活かしたボランティア)の調整を行った。
イ 訪問傾聴ボランティア派遣事業を実施した。
ウ 個人登録ボランティアに、ボランティア募集の情報提供をし、活動に結びつけた。
エ 古切手・ベルマーク等の外部団体への送付・寄贈を行った。

(3) ボランティア講座

ア 福祉有償運送運転者講習会

- 日 時 ①令和3年 6月15日(火) 午前9時30分～午後4時00分
令和3年 6月16日(水) 午前9時00分～午後3時30分
②令和3年11月 9日(火) 午前9時30分～午後4時00分
令和3年11月10日(水) 午前9時00分～午後3時30分

- 会 場 ①特別養護老人ホーム松秀園
②特別養護老人ホーム松秀園、静岡菊川自動車学校

内 容 福祉有償運送運転に関わる講義および演習

講 師 東遠学園職員、和松会職員、草笛の会職員、白翁会職員
菊川市社会福祉協議会職員、静岡菊川自動車学校インストラクター

参加者 ①10名(一般10名) ②11名(一般4名、事業所職員7名)

イ 災害ボランティアコーディネーター養成講座

- 日 時 1日目 令和3年10月30日(土) 午前9時～午後4時
2日目 令和3年10月31日(日) 午前9時～午前11時

会 場 菊川市総合保健福祉センター プラザけやき 1階 ボランティア室

内 容 「ふじのくに災害ボランティアコーディネーター養成講座」
(静岡県ふじのくに防災に関する知事認証認定)

講 師 静岡県ボランティア協会、静岡県西部危機管理局、菊川市危機管理課
菊川市防災士、菊川災害ボランティアコーディネーター

受講者 6名

ウ はじめての手話→今年度は開催無し

エ ボランティア講演会(ボラ連との共催事業)→今年度は開催無し

オ 訪問傾聴ボランティア情報交換会

日 時 ①令和3年6月22日(火)

②令和3年6月25日(金)

会 場 ①プラザけやき ボランティア室

②プラザけやき ボランティア室

内 容 感染症対策、訪問活動再開時期について情報、意見交換、相談

参加者 ボランティア登録活動者

① 6名

② 4名

カ 訪問傾聴ボランティア現任研修（スキルアップ）

会 場 小規模多機能ホームようこそ

日 程 毎月第2水曜日 午前10時～11時30分間の1時間程度

内 容 ようこそでの傾聴活動

Ⅲ 在宅福祉サービス事業（住民の生活支援事業）

在宅福祉サービス事業は、主に行政からの委託事業を行っているが、長寿介護課及び地域包括支援センター等による利用者の選定により事業展開が変動するため、綿密な連携が必要とされる。今後、社会福祉協議会として広報活動を通じ、より多くの市民に本事業を知ってもらい利用者を増やす努力をしながら、事業体制の確立と収支バランスのとれた委託契約を結び、職員の意識改革・高揚を高め、さらに事業内容についても社会福祉協議会らしさを追及した事業展開を図った。

1 高齢者福祉サービスの充実

- (1) 長寿介護課及び地域包括支援センター等との連携強化
- (2) 東部ふれあいプラザの管理
- (3) 一般高齢者通所型介護予防事業

ア いきいきサロンけやき

開催日時 毎週火曜・水曜・木曜・金曜 午前10時00分～午後2時00分
 会場 プラザけやき

	令和3年度	令和2年度
	プラザけやき	プラザけやき
利用者数	39人 男性(3) 女性(36)	43人 男性(3) 女性(40)
延利用者数	1,134人	1,305人
年間開催日	169日	171日
1日平均利用者数	6.7人	7.6人

イ いきいきサロン東部

開催日時 毎週月曜・水曜・金曜 午前10時00分～午後2時00分
 会場 東部ふれあいプラザ（潮海寺）

	令和3年度	令和2年度
	ふれあいプラザ	ふれあいプラザ
利用者数	15人 男性(2) 女性(13)	20人 男性(2) 女性(18)
延利用者数	373人	462人
年間開催日	126日	132日
1日平均利用者数	3.0人	3.5人

(4) 外出支援サービス事業

	令和3年度	令和2年度
移送サービス（病院）	135回	203回

IV 介護保険サービス事業

1 居宅介護支援事業

(1) きくがわ居宅介護支援事業所

(ケアプラン作成件数) 前年度 2,366 件

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護	158	159	165	167	170	166	176	173	171	167	164	164	2,000
予防	38	34	37	38	37	40	41	40	40	43	39	40	467
計	196	193	202	205	207	206	217	213	211	210	203	204	2,467

2 老人介護等支援事業

(1) きくがわヘルパーステーション

前年度 派遣回数 4,145 回 稼働時間 3,449 時間 利用者数 438 人

(単位：回、時間、人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
派遣回数	388	335	362	355	361	355	382	371	340	313	316	288	4,166
稼働時間	284	249	262	271	280	280	296	300	265	251	255	246	3,239
利用者数	37	37	40	39	40	39	38	39	37	39	38	34	457

3 通所介護事業

(1) きくがわデイサービス ぎおんの里

前年度 運営日数 308 日 利用延数 6,499 人 1日平均 21.1 人

(単位：日、人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運営日数	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	24	27	308
利用延数	537	543	524	550	547	571	495	453	416	414	415	434	5,899
1日平均	20.7	20.9	20.2	20.4	21.0	22.0	19.0	17.4	17.3	17.3	17.3	16.1	19.2

4 訪問看護事業

(1) きくがわ訪問看護ステーション

前年度 利用者数 1,009人 利用件数 5,035件

(単位：人、件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	80	81	83	78	77	71	68	64	66	67	68	66	869
利用件数	400	369	437	369	369	327	301	324	274	300	310	350	4,130

V 障害者総合支援法事業等

1 居宅介護等事業

(1) 社協きくがわ支援事業所

前年度 派遣回数 378回 稼働時間 507.5時間 延利用者数 114人

(単位：回、時間、人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
派遣回数	37	29	27	27	28	29	35	35	31	36	24	35	379
稼働時間	53.25	40.25	36.25	42.50	40.50	42.00	47.25	46.25	43.75	44.50	34.00	48.75	519.25
利用者数	9	8	9	9	8	10	10	9	9	11	10	11	113

2 地域生活支援事業

(1) 移動支援事業

前年度 派遣回数 38回 稼働時間 71.4時間 延利用者数 15人

(単位：回、時間、人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
派遣回数	7	4	6	11	9	1	7	12	13	6	7	7	97
稼働時間	17.2	14.1	13.1	23.3	8.3	4	17.1	21	28	6	7	7.5	166.6
利用者数	2	2	2	2	2	1	3	3	4	1	1	2	25

3 共生型生活介護事業

(1) きくがわデイサービス ぎおんの里

前年度 運営日数 308日 利用延数 0人 1日平均 0人

(単位：日、人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運営日数	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	24	27	308
利用延数	1	4	7	4	2	6	3	7	5	4	1	1	45
1日平均	0.03	0.15	0.27	0.15	0.08	0.23	0.12	0.27	0.21	0.17	0.05	0.04	0.15

※ 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、利用者がサービス利用を控えたため、上記の実績となった。

IV 児童福祉支援事業

1 菊川児童館の運営

《令和3年度運営方針》

児童館は、18歳未満のすべての子どもを対象とし、地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもを心身共に健やかに育成することを目的とする。この目的達成のため、気軽に来館できる雰囲気作りを職員一同心がけ、親子・大人・子ども同士の出会いと交流が自然にうまれる場となるよう努める。

申し込みの必要がなく、どなたでも自由に気軽に参加できる「にこにこタイム(毎週火曜日～木曜日 11:10～11:30)」の周知に努め、来館促進につなげる。そのために日々の内容を精査し、職員それぞれの特徴を生かした事業とし、“今日は何があるかな?”と期待を持っていただけるよう取り組む。

開館にあたっては、密を避けるため ①入館制限(25組 50人以内とする) ②50人を超えた場合、滞在時間90分を基本に入館者の入替を行う。③申し込みの事業を15組以内に制限する ④1日2回(11:30～、16:00～)館内の遊具・おもちゃの消毒をするため退館をしていただく、等の対策をする。また、来館者にもおもちゃの消毒を依頼し、館内に6か所のアルコール消毒液を設置する。

◎ 年間利用者数 16,589人 (前年度より 2,080人減)

*新型コロナウイルス感染予防対策のため、プラザけやき停電のため
開館日が35日減

◎ 利用時間 午前9時～午後4時30分

◎ 休館日 日曜日・月曜日・祝日・年末年始

《実践報告》

(1) 乳幼児親子対象事業

① 未就園児親子教室「ふれあいタイム(毎月の申込制)」

ア 0歳児ふれあいタイム

月 日	活 動 内 容	参加者
4月15日(木)	親子リトミック遊び(リトミックにこにこ)	15組(30人)
5月27日(木)		15組(30人)
6月17日(木)		14組(28人)
9月9日(木)	新型コロナウイルス感染予防対策のため休館	
10月21日(木)	親子リトミック遊び(リトミックにこにこ)	14組(28人)
11月18日(木)		14組(28人)
2月24日(木)	新型コロナウイルス感染予防対策のため中止	
合 計 (5回)		72組(144人)

令和2年度 5回 70組(150人)

イ 1歳児ふれあいタイム

月 日	活 動 内 容	参加者
4月23日(金)	親子遊び&ママヨガ 講師 水谷小枝さん	5組(10人)
5月28日(金)		14組(28人)
6月25日(金)		10組(20人)
7月16日(金)		11組(22人)
9月24日(金)	新型コロナウイルス感染予防対策のため休館	
10月15日(金)	親子遊び&ママヨガ 講師 水谷小枝さん	10組(21人)
11月16日(火)		15組(30人)
1月14日(金)		13組(26人)
2月17日(木)	新型コロナウイルス感染予防対策のため中止	
合 計 (7回)		78組(157人)

令和2年度 6回 74組(154人)

ウ 2～3歳児ふれあいタイム

月 日	活 動 内 容	参加者
7月20日(火)	水遊び	14組(30人)
10月13日(水)	絵本DEリトミック	14組(28人)
2月16日(水)	新型コロナウイルス感染予防対策のため中止	
合 計 (2回)		28組(58人)

令和2年度 2回 32組(75人)

② 水遊び

簡易プールによる水遊びを5回実施。51組親子参加。

(2) 小中高生対象事業

① 小学生土曜クラブ (なぞ解き大冒険)

新型コロナウイルス感染予防対策のためクッキングは通年中止
謎解き大冒険に変更する。

月 日	内 容	参加者
8月4日(水)	きみにこのナズがとけるかな?問題を解いておいしいお宝をゲットしよう!!	16人
8月5日(木)		14人
12月18日(土)	サンタクロースのプレゼントを探せ!	14人
合 計 (3回)		44人

② 小中高生プレイルーム

【日時】土曜日・長期休暇(春休み・夏休み・冬休み)午後1時～午後4時30分
第2土曜日(おもちゃ図書館開館日)はお休み
長期休暇以外の平日の午後は、おもちゃの貸し出しを行った。

【内容】小中高生の健全な遊び、仲間とのかかわりの場となるように卓球台、ビリヤード、キッカーボード、各種ゲームやおもちゃをそろえ、交流で

きる居場所づくりに努めた。“ちょこっとタイム”として、午後1時30分～午後2時の間、簡単にできる工作とゲームを開催した。

月	プレイルーム参加者	ちょこっとタイム参加者 (内容)
4月	56人	33人(進級お祝いビンゴ)
5月	59人	25人(ステキな♡ランタン作り)
6月	66人	23人(父の日のプレゼント作り「オリジナルキーホルダー」)
7月	116人	42人(キャンディーバックの工作)
8月	89人	34人(アイロンビーズ・キャストキーホルダー・ビンゴ)
9月	新型コロナウイルス感染予防対策のため休館	
10月	32人	20人(ハロウィンバッグを作ってつかみ取り！)
11月	40人	24人(ふしぎなミラーボックス工作)
12月	43人	32人(アイロンビーズを作ろう！！)
1月	29人	20人(新春運試しビンゴ)
2月	プラザけやき停電のため土曜日休館	
3月	86人	36人(センサリーノートを作ろう！)
合計	616人	289人

(令和2年度 1,516人)

③ 高校生と赤ちゃんとの交流事業

【目的】高校生が赤ちゃんとのふれあいから自分の存在・家族のことを考え直し、自分の生命が両親から多くの愛情と慈しみを与えられていることを実感が得られる場とする。赤ちゃんの親にとっては、高校生に我が子の未来の姿を重ね合わせ、日々の子育てを振り返るきっかけになり、育児不安や虐待の予防につなげたい等、相互効果を期待する。

月 日	内 容	参加者
8月24日(火)	《赤ちゃんのいる生活について》	緊急事態宣言中となり中止
8月25日(水)	《行政における子育て支援》	

(令和2年度 中止)

(3) どなたでも参加の事業

① 自由来館

平日は乳幼児親子、土曜日や長期休暇は幼保育園児親子や小学生などが自由に楽しく安全に過ごす場の提供に努めた。初めて来館した親子には館内の利用案内を丁寧に行い、“来てよかった。また来たい。”と感じていただけるよう配慮した。平日の午後は、園児(年少児以上)対象におもちゃの貸し出しを行った。

*かくれんぼちゃん、ど～こだ！(館内の廊下6か所に月ごとのキャラクターを隠し、見つけるゲーム。毎月1日と15日更新)

② にこにこタイム

【日時】毎週火曜日～木曜日(長期休暇を除く)午前11時10分～午前11時30分
・ 月1回「にこにこ工作」

- ・ 月 1 回 「にこにこ誕生会」
- ・ 月 1 回 「にこにこ交流会(いきいきサロン利用者の招待)」

【内容】親子体操・手遊び・歌遊び・読み聞かせ等を通して親子や来館者同士のふれ合いを楽しんだ。子育て支援センターを含む職員 4 人の個性を生かした手遊びを取り入れ、親しみやすさ・個性をアピールした。「にこにこ工作」では季節に合った簡単な製作遊び、「にこにこ誕生会」では誕生月の子ども・保護者を来館者みんなで祝う活動、「にこにこ交流会」では「いきいきサロン利用者」を招待し、お年寄りと共に楽しいひとときを過ごした。

月	にこにこタイム (回数)	(誕生会)	(工作)	(交流会)
4 月	157 組 (12 回)	21 組	牛乳パックのかぶと工作 13 組	
5 月	153 組 (11 回)	21 組	カエルのぴよんきち君を作ろう 16 組	
6 月	203 組 (16 回)	10 組	遊べる! たなばたかざりを作ろう 19 組	13 組
7 月	117 組 (8 回)	23 組		13 組
8 月		17 組		
9 月	新型コロナウイルス感染予防対策のため休館			
10 月	140 組 (12 回)	20 組	かわいい! ミイラバッグを作ろう 9 組	10 組
11 月	107 組 (10 回)	11 組	何が撮れるかな!! びっくりカメラ 16 組	9 組
12 月	102 組 (10 回)	13 組	リンゴのセンサーバッグを作ろう 19 組	
1 月	177 組 (12 回)	14 組	おにさん節分バッグ 6 組	
2 月	新型コロナウイルス感染予防対策のため中止			
3 月	50 組 (6 回)	11 組	ホースで!! 「ひも通し」を作ろう!! 14 組	
合計	1206 組 (97 回)	161 組	112 組	45 組

(令和 2 年度 1556 組 116 回)

③ 特別企画

月 日	活 動 内 容 (出演者等)	参加者
5月11日(火) ～ 5月14日(金)	新型コロナウイルス感染予防対策のため「子どもウィーク」に変更 職員による日替わりのお楽しみシアター。手作りキーホルダー等の プレゼン ト	70組 101人
11月20日(土)	秋のおたのしみ会 前・後半の2部制 水ようおはなし会による親子で楽しむ人形劇 (ちょこっとプレゼント・手作りノントンバッグ)	21組 59人
12月21日(火)	クリスマス会 前・後半の2部制 (グリーンシトラスによるクリスマス演奏会・民生委員児童委員、社協局 長によるサンタクロース登場・ちょこっとアイテムプレゼント)	26組 54人
1月27日(木) 1月29日(土)	ちびっこ節分(2日実施) (みんなで踊ろう「オニのパンツ」・パネルシアター・豆作り・ 鬼退治・ラーメン体操・ごほうび) *民生委員・児童委員2名、社協局長と職員1名による鬼登場。	中止
合 計		117組 214人

(令和2年度 30組 77人)

④ ウェルカム！児童館 (初来館の方への児童館利用案内)

【内容】リーフレット・お便り・菊川市LINE 資料配布

(単位：組)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
組数	12	11	10	15	7	0	30	24	15	7	4	9	144

(令和2年度 173組)

(4) 相談支援事業

【内容】職員は来館者とのコミュニケーションを大切に、気軽に声をかけやすい
雰囲気作りに心がけた。相談内容に応じ、専門機関に引き継いだ。

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来館	17	11	22	13	6	3	15	17	23	16	25	11	179
電話	0	1	0	2	0	9	4	5	1	1	1	0	24

(子育て支援センター事業相談件数と重複) (令和2年度 来館81件 電話12件)

(5) 支援事業

菊川おもちゃ図書館「あそぼ」

【内容】心身に障がいを持つ子ども達が、おもちゃを通して遊ぶ楽しさを知り、多
くの仲間と出会うことによって生き生きと成長していくことを促す場

ある。児童館は、ボランティアグループおもちゃ図書館「あそぼ」の活動支援を行い、開館準備・運営・片付け等の支援を行なった。

【日時】月1回 第2土曜日 10:00～11:30 13:30～16:00（8月はお休み）

*新型コロナウイルス感染予防対策のため、9月・2月・3月は休館とした

【年間利用者数】

子ども（内 障がい児）	大人	ボランティア	合計
156人（77人）	108人	80人	344人

（令和2年度 280人）

（6）地域連携事業

- ① 中・高校生ボランティア受け入れ 中止
- ② 職場体験学習受け入れ 中止
- ③ 施設見学等受け入れ 中止
- 令和3年インターンシップの受け入れ 中止
- 実習生受入・・・8/3～7 8/17～21
- ④ 子育て情報パンフレットコーナー設置
- ⑤ 絵本の貸し出し・・・中止
- ⑥ リユース掲示板設置・・・不要になった育児用品を捨てずに、必要な人に使ってもらうことを目的とする。
- ⑦ 担当者会議（社協、子育て応援課、両児童館 月1回）
- ⑧ 菊川市社会教育課主催 ボランティア担当者会議・放課後子ども総合プラン運営委員会（新型コロナウイルス感染予防対策のため中止または書面決議。）
- ⑨ 菊川市子育て応援課主催 プレママ&パパサロン(4回) 要保護児童対策地域協議会（月1回）
- ⑩ 菊川市役所健康づくり課主催「健康チェックの日」年2回児童館にて行う。
- ⑪ 研修等

月 日	内 容	参加者
6月3日(木)	静岡県児童館連絡会 総会・研修「児童館の感染症対策ガイドライン」 「コロナ禍の児童館の工夫」	松村
7月2日(金)	西部地区児童館連絡会 総会（掛川）	松村
9月9日(木)	西部地区児童館連絡会 研修「気になる子へのアプローチ」・実技研修・情報交換会	平野
10月9日(土)	聖隷クリストファー大学講演会	松村
10月27日(水)	静岡県児童館連絡協議会 館長研修会	松村
12月7日(火)	西部地区児童館連絡会 実技研修（クラフトバンド）・実技交流会	松村
12月8日(水)	社会福祉協議会 研修会「ボスマネジメント」	松村
3月22日(火)	社会福祉協議会 研修会 広げよう！信頼の輪を —互いに尊重し合い協力し合える組織にするために—	松村

（7）安全管理

① 安全点検

施設・固定遊具等の日常の安全点検と月1回の定期安全点検を実施、点検結果に応じ事後処置を講じるとともに、社会福祉協議会・子育て応援課に報告した。

② 安全指導

児童館でのルールや遊具の使い方等、事故防止のための指導を行った。入館者名簿は確実に記入していただくとともに、受付番号の札を身に付けてもらい、帰宅するときに職員に札を返していただく事で、来館者状況の把握を行った。退館時刻は密になることを防ぐため、職員の方で記入した。園児は受付にて親子でのあいさつと名前を言うことをお願いし、ハイテンションによる事故防止に努めた。

③ 安全対策

受付にて来館者チェック、初めての来館者への施設利用案内、日常的な見回りと声かけを実施した。災害対応マニュアルを作成し、職員間で確認した。非常時に備えて、救急用品の充実を図った。

新型コロナウイルス感染予防対策のため1日3回の消毒作業を行い、来館者にも消毒を依頼した。

令和3年度 来館者数

(単位：人)

月 (日数)	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大人	合計	新着児	市外	組
4月 (21日)	282	614	71	14	0	787	1,768	8	64	713
5月 (19日)	241	596	85	3	0	718	1,643	14	54	545
6月 (22日)	241	676	90	1	17	819	1,844	12	59	708
7月 (21日)	170	651	135	11	9	726	1,702	13	60	732
8月 (11日)	79	357	130	19	1	366	952	0	13	356
9月 (0日)	新型コロナウイルス感染予防対策のため休館									
10月 (22日)	208	735	57	2	2	792	1,796	12	20	758
11月 (19日)	188	663	56	0	3	704	1,614	11	23	683
12月 (20日)	179	746	105	1	4	821	1,856	20	41	746
1月	103	600	34	5	2	576	1,320	11	26	528

(20日)										
2月 (14日)	85	320	7	0	0	308	720	0	6	300
3月 (22日)	134	575	83	11	0	571	1,374	0	28	491
合計 (211日)	1,910	6,533	853	67	38	7,188	16,589	101	394	6,560
月平均	159	544	71	6	3	599	1,382	8	33	547
1日平均	9	31	4	0.3	0.2	34	79	0.5	2	31

令和2年度

合計 (205日)	1,519	7,822	566	39	22	8,701	18,669	134	737	8,044
月平均	127	652	47	3	2	725	1,556	11	61	670
1日平均	7	38	3	0.2	0.1	42	91	1	4	39

《全体評価》

(1) 乳幼児親子対象事業「ふれあいタイム」

同じ月齢の子を持つ親同士の交流の場・情報交換の場・子ども同士のふれあいの場として開催している。0歳児は親子リトミック、1歳児は親子遊び&ママヨガとして定着し、事業に参加することによりお母さん同士が仲良くなり、子育ての楽しさを味わえるよう開催した。密を避けるため、参加人数を15組と縮小しているせいか例年になくアットホームな雰囲気講師との距離も近く感じられた。1歳になった4月のタイミングで入園する子も多く見られるようになり、こちらから声掛けして参加してもらう回もあった。

(2) 小中高生対象事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小学生土曜クラブのクッキングは年間通じて中止とした。その代わりに「小学生なぞ解き大冒険」を年3回行い楽しんだ。その他、毎月の小中高生プレイルームの中で行っている「ちょこっとタイム」に力を入れ、申し込み制にし、季節に合った工作などを中心に、物を自分で作り出す楽しさや、異なった小学校の子どもたちとの交流をねらいとした。

「高校生と赤ちゃんとの交流事業」は、緊急事態宣言中となり中止した。

(3) どなたでも参加の事業

申し込みの必要がなく、どなたでも自由に気軽に参加できる事業として「にこにこタイム」は定着している。回を重ねるごとにだんだんと、これを目的に集まってくれる親子も増えていった。乳幼児はその日の気分が大きく作用するので、子どもの様子に合わせて無理せずに保護者も参加していた。午前中の遊びの締めくくりとしての役割もあり、終了するとスムーズに気持ちが切り替えられ、帰ることができていた。来館する子どもの年齢が低くなりつつあるので、乳児向けの内容を充実させた。

新型コロナウイルスの流行の様子により、中止することも多くあり、昨年度よりも回数が減ってしまったのが残念だった。

2 小笠児童館の運営

《令和3年度運営方針》

18歳未満のすべての子どもを対象とし、遊びおよび生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもを心身共に健やかに育成することを目的とする。気軽に来館でき、出会いと交流が自然にうまれる場となるよう雰囲気作りに努めたい。新型コロナウイルスの影響で行事開催が危ぶまれる中であるが、特に「自由来館」を大いに上手に利用してもらいたい。制限の中でもルールや時間等を守れるように促しながら、仲間作りや社会的ルールも意識してもらいたい。

小中高生ひろばの一部として行う「お楽しみ工作」を重点事業に上げ、工作を通して「季節」「工夫」「あそび」「ふれあい」「感謝」などを感じてほしい。

職員の心構えとしては「報」（報告）・「連」（連絡）「相」（相談）「確」（確認）を共通理解とし、計画的に、時間に余裕を持って取り組むたい。

◎ 年間利用者数 10,833人（昨年度より232人減）

◎ 利用時間 午前9時～午後4時30分

◎ 休館日 日曜日・月曜日・祝日・年末年始

《実践報告》

（1）乳幼児親子対象事業

① 未就園児親子教室「みんなのひろば」

【対象】市内の0歳児～就園前親子

【日時】午前10時～午前11時

開催日	活動内容	参加者
5月18日(火)	うんどうあそび (1.8ヶ月～対象) 講師 大場義貴氏&はやちゃん	12組27人
6月15日(火)	リズムあそび (1.8ヶ月～対象) 講師 リトミックにここ	11組24人
7月15日(木)	リズムあそび (1.8ヶ月～対象) 講師 リトミックにここ	16組35人
9月14日(火)	うんどうあそび (1.8ヶ月～対象) 講師 大場義貴氏 新型コロナウイルス感染予防対策のため休館	
10月20日(水)	遠足「親子で秋探しをしよう」 (10:00～13:00まで時間を延長して行った) 菊川運動公園にて	13組26人
11月16日(火)	うんどうあそび (1.8ヶ月～対象) 講師 大場義貴氏	12組27人
12月2日(木) 3日(金)	みんなであそぼうクリスマス会 (1.6ヶ月～対象)	18組41人
1月20日(木)	リズムあそび (1.8ヶ月～対象)	8組19人

	講師 リトミックにこにこ	
2月15日(火)	うんどろあそび (1.8ヶ月～対象) 講師 大場義貴氏 新型コロナウイルス感染予防対策のため	中止
3月3日(木)	リズムあそび (1.8ヶ月～対象) 講師 リトミックにこにこ 新型コロナウイルス感染予防対策のため	中止
合計	7回開催	90組199人

(令和2年度 10回開催 110組 235人)

② 水あそび

【対象】市内の1歳(お座りが出来る子)～未就園の子

【日時】7月中旬～8月6日

(おおよそ毎日(土曜日・お盆時期は除く。また8月18日から新型コロナウイルス感染予防のため休館))

【場所】中庭ひろばにて(簡易プール使用)

【利用状況】毎日10組前後の親子が利用した。

(2) 小中高生対象事業

① 小学生チャレンジGO!

【対象】市内の小学生

【日時】毎月1回(8月は除く)土曜日開催

開催日	活 動 内 容	参加者
5月8日(土)	母の日のプレゼント作り 「本革のカードケース」	18人
6月19日(土)	父の日のプレゼント作り 「本革のコインケース」	19人
7月10日(土)	スラックライン体験&昔のあそび 講師 (スラックライン) 宇佐美竜一氏	20人
9月18日(土)	敬老の日のプレゼント作り「フォトフレーム作り」 新型コロナウイルス感染予防対策のため休館	
10月30日(土)	「出前講座みんなで学ぼう防災について」 講師 菊川市危機管理課職員 (市内小学校運動会開催のため中止)	中止
11月13日(土)	「エクササイズパンチ&キック」 講師 フィットネスインストラクター 鈴木二三枝氏 中高生⑤2人	23人
12月4日(土)	「クリスマススノードーム作り」	23人
1月15日(土)	「なわとび&ドッジボール、他」 講師 エンジョイキッズ 村松成樹氏 中高生⑤2人 小笠体育館にて	36人
2月19日(土)	「和太鼓演奏&体験会」 ゲスト 大東ふるさと太鼓 新型コロナウイルス感染予防対策のため	中止
3月5日(土)	「出前講座みんなで学ぼう防災について」	

	講師 菊川市危機管理課職員 新型コロナウイルス感染予防対策のため	中止
合計	6回開催	139人

(令和2年度 開催回数9回 参加者162人)

② 小中高生ひろば

【日時】土曜日・長期休校（春休み・夏休み・冬休み）

午後1時～午後4時

学校が短縮日課等で、小中生が多く来館した場合は状況により開催した。尚、8月18日から9月30日まで新型コロナウイルス感染予防のため休館

【内容】小中高生の健全な遊び、仲間との関わりの場や居場所作りとなるように努めた。「おたのしみ工作タイム」（13:30～15:00）として簡単な工作を提供した。

*小中高生ひろば (68日開催 619人参加)

(令和2年度 132日開催 1,499人参加)

*土曜日の「おたのしみ工作タイム」

(30日開催 290人参加)

(令和2年度 22日開催 202人参加)

*夏の「おたのしみ工作タイム」

8/7「時計制作」、 (参加人数 17人)

8/21「スノードーム」 (休館のため中止)

8/28「恐竜制作」 (休館のため中止)

(3) どなたでも参加事業

① 自由来館

平日は乳幼児親子、土曜日・長期休校・休園中は幼稚園親子や小学生などが自由に過ごす場の提供を行った。幅広い異年齢の子ども達、また保護者が一緒に安全に過ごせるように配慮した。職員が役割や任務を果たしながら一緒に遊びや相談業務を行った。

館内貸し出しおもちゃは新型コロナウイルス感染予防対策のため数を制限して提供した。

館内ゲーム「さがしてごらん」は例年通り行った。

*「さがしてごらん」の年間参加者数は延べ1,650人

(令和2年度延べ 1,499人)

② おりがみタイム

【対象】どなたでも参加

【日時】毎月1回 午後3時30分～午後4時

開催日	活動内容	参加者
4月23日(金)	読み聞かせ「とべとべこいのぼり」 手あそび「キャベツのなから」 おりがみ「端午の節句」	3組9人
5月21日(金)	読み聞かせ「かさ」 手あそび「1と1を合わせると」	4組14人

	おりがみ「傘のペンダント」	
6月18日(金)	読み聞かせ「紙皿シアター」 手あそび「ひげじいさん」 おりがみ「星のロケット」	7組 22人
7月16日(金)	読み聞かせ「おふろじゃぶーん」 手あそび「トンひげ」 おりがみ「うちわ」	9組 25人
8月20日(金)	読み聞かせ「恐竜」 新型コロナウイルス感染予防対策のため休館	
9月17日(金)	折り紙「国旗のバスケット」 新型コロナウイルス感染予防対策のため休館	
10月15日(金)	折り紙「ハロウィンバッグ」	15組 38人
11月19日(金)	読み聞かせ「14匹のあきまつり」 手あそび「どんぐりころころ」 おりがみ「どんぐりとトトロ」	6組 19人
12月17日(金)	読み聞かせ「サンタさん」 手あそび「お弁当箱」 おりがみ「サンタさんとトナカイさん」	8組 25人
1月21日(金)	折り紙「富士山絵馬」 新型コロナウイルス感染症拡大状況により参加者なし	0人
2月18日(金)	折り紙「スイングうぐいす」 新型コロナウイルス感染予防対策のため	中止
3月11日(金)	読み聞かせ「わたしのワンピース」 手あそび「お弁当箱」 おりがみ「チューリップカップ」	6組 13人
合計	9回開催	58組 165人

(令和2年度 10回開催 67組 204人)

③ 特別企画

【内容】季節の行事としてみんなで楽しい時間を過ごした。

開催日	活動内容	参加者
12月11日(土)	クリスマス会 ゲスト 掛川ウインドアンサンブル	90人
合計	1回開催	90人

(令和2年度 1回開催 90人)

④ 絵本の貸し出し事業

*新型コロナウイルス感染予防対策のため年間を通して中止とした。

⑤ はじめまして！児童館

【対象】引っ越してきた方・あまり利用したことがない方・児童館を知りたい方、友達関係を持ちたい方などを対象に使用説明を行う。いつでも受け付ける形にして歓迎する。

初来館者 52組

⑥ おもちゃ病院

【対象】 児童館利用者どなたでも

【日時】 毎月1回開院（午前10時～11時30分）（10月を除く）

【内容】 壊れたおもちゃの修理

開催日	参加者
4月24日(土)	6組(10体)
5月22日(土)	5組(8体)
6月26日(土)	6組(11体)
7月17日(土)	6組(8体)
8月28日(土)	新型コロナウイルス感染予防対策のため休館
9月25日(土)	新型コロナウイルス感染予防対策のため休館
11月27日(土)	10組(13体)
12月25日(土)	7組(13体)
1月29日(土)	新型コロナウイルス感染予防対策のため休院
2月26日(土)	新型コロナウイルス感染予防対策のため休院
3月26日(土)	5組(8体)
合計	7回開催 45組(71体)

(令和2年度 9回開催 69組(121体))

(4) 相談支援事業

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来館	10	5	9	10	4	0	9	8	7	4	6	12	84
電話	0	1	1	0	10	4	0	0	0	0	0	0	16

(子育て支援センター相談件数と重複) (令和2年度 来館者166件 電話5件)

① 子育て相談業務

【内容】 子育て全般に対する相談窓口として、電話、来館にて相談に応じた。
また来館者に積極的に声を掛け、多くの見守りの中で子育てをしている安心を感じてもらえるように配慮した。

(5) 支援事業

子どもたちが健やかに育つことを願い、地域資源を有効に利用し見守った。

① 菊川市みらい子育てネット母親クラブの育成・支援

「小笠南地区のいちご会」

小笠南小学校区を拠点に活動を進めて会員相互の活動、地区全体の活動など幅広く活動した。

(6) 地域連携事業

① 中高生ボランティア受け入れ

菊川市ボランティア体験活動受け入れ 延べ 21人

② 施設見学および実習受け入れ

ア 御前崎市職員および社協職員視察 (5月18日)

イ 常葉大学短期大学部2年生 2人

- (8月17日～21日) (10月9日、16日、23日、11月6日)
- ウ 小笠東小学校2年生 (10月6日) 7人
- エ 牧之原市役所職員視察 (11月4日)
- ③ 担当者会議
(子育て応援課、社協、両館長での事業報告及び検討会) (月1回)
- ④ 菊川市子育て応援課
ア 菊川市要保護児童対策地域協議会(第3部:乳幼児部会)
- ⑤ 菊川市学校教育課
ア 菊川市新任教職員研修(5月13日)
イ 菊川市3年次教職員研修(6月24日)
- ⑥ 菊川市社会教育課
ア 子ども読書活動推進協議会参加(年2回)
- ⑦ 菊川市健康づくり課
ア プレパパママサロン参加(年2回)
イ 療育教室「のんのん」参加(年2回)
ウ 菊川市食育連絡会(6月29日)
- ⑧ 菊川市福祉課
ア 児童館運営委員会(年1回)(書面決議)
- ⑨ 菊川市地域支援課
ア 男女共同参画事業関連調査(7月16日)
- ⑩ 菊川市危機管理課
ア 菊川市主催の防災訓練および講座についてのアンケート調査
(10月1日～16日)
- ⑪ 菊川市社会福祉協議会
ア 職員研修

開催日	内 容	参加者
11月10日(水)	アサーション研修会 講師 (株)日本教育クリエイト 三幸福祉カレッジ	岡本
3月24日(木)	「広げよう!仕事のよろこびを」 -互いに尊重し合い協力し合える組織にするた めに-アフメーションを作る 講師 Marble Innovetion 笑顔の職場改善プロデューサー 松尾久美子氏	山下

イ 小笠児童館館内研修会(ボードゲームや館内環境について)

⑫ 職員研修会参加

開催日	内 容	参加者
6月4日(金)	静岡県児童館連絡協議会総会および研修会 (リモート)	山下
7月2日(金)	静岡県西部地区児童館連絡協議会総会および研修会(リモ ート)	山下
9月8日(水)	静岡県西部児童館連絡協議会館長研修会	岡本
12月7日(火)	静岡県西部地区児童館連絡協議会 児童厚生員研修会	岡本

2月18日(金)	静岡県児童館連絡協議会自館にて会計監査	山下
3月16日(水)	静岡県児童館連絡協議会理事会 (書面決議)	山下

- ⑬ 他の機関とのつながり
 ア 児童館だより等配布
 (各小学校・幼稚園・保育園・こども園・各関係施設)

(7) 安全管理

① 安全点検

- ア 施設、固定遊具、玩具（危険個所や破損物）の点検
 イ 消防設備点検（8月、2月）
 ウ 床・エアコン清掃
 ＊あつまれひろばの床のささくれ事故の発生（7件）

② 安全指導

- ア 児童館でのルールや遊具の使い方など事故防止のための指導を繰り返し行い、子どもたちに安全に遊べるための意識を身につけていくように促した。
- イ 館内はすべりやすい所やささくれもあり、注意して安全に遊べるように呼びかけた。今年度後半から「あつまれひろば」においてささくれがひどくなり研磨作業やニス塗布を行う。12月末から上履きを使用しての利用となった。小中高生ひろば開催時の卓球・サッカーゲームの準備は必ず職員が行った。開催時間帯はその場所に滞在して遊びを見守った。
 (安全面確保のため乳幼児の立ち入りを制限した)
- ウ 非常口通路の確保ができるように、靴はくつ箱に入れる。また廊下や室内に荷物や物を置きっぱなしにしないよう整理整頓に心掛けた。
- エ 流行性の疾病が発生した時は、おたより等でうがいや手洗いなどの励行を呼びかけ、発症の時は児童館への来館を控えるなど館内にポスターを掲示し注意を促した。また、来館を控えていただきたい子が来た時は、事情を丁寧に説明し帰宅を促した。
 新型コロナウイルスの感染予防対策のため、8月18日～9月30日まで休館の措置、職員は平常通り出勤し、感染状況の連絡を受けたり知らせたり、研修、掃除、諸準備を行った。
 また、2月、3月は事前申し込み行事は中止となった。

③ 安全対策

- ア 挨拶を交わし合うことで不審者対策をした。新型コロナウイルス感染予防対策として受付にて、質問、検温し、来館者カードに記入頂きチェックした。日常の見回り、換気と声掛けを実施した。
- イ 初めての来館者には丁寧に施設利用を説明した。
 (リーフレット配布)
- ウ 退館状況の把握が確実にできるように、来館者全員に帰る時刻を告げていただいた。
- エ 災害時の対応についてはおたより等で案内し、館内に掲示して周知に努めた。
- オ 地震に備え、卓球台・ビリヤード台・サッカー台など、使用しない時は安全ベルトで固定している。非常口通路の確保ができる様に館内の整理整頓に心掛けた。

- カ 長年使用している遊具は年月を確認して、業者（YSKIT）による破損や耐久年数を調査の上、安全確保のため使用を控え、状態によってはブルーシートを覆い使用禁止とする。
- キ 新型コロナウイルス感染症を含む流行性疾病を予防として換気、消毒を毎日2回（11:30～、16:00～）行う。また、来館者にも使用したおもちゃの消毒に協力してもらった。アルコール消毒液は館内に設置。
- ク 諸症状がある人に対しては完全に治るまで来館を控えてもらう。

令和3年度 入館者数

(単位：人)

月 (日数)	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大人	合計	(ボランティア)	(市外)	組数
4月(21)	123	354	160	18	8	391	1,054	(0)	(96)	384
5月(19)	80	323	133	26	3	392	957	(0)	(85)	342
6月(22)	121	422	122	15	0	456	1,136	(0)	(119)	426
7月(21)	83	464	273	21	3	485	1,329	(0)	(110)	455
8月(10)	34	294	171	24	0	297	820	(0)	(89)	264
9月(0)	新型コロナウイルス感染症予防対策のため休館									
10月(21)	92	536	136	4	3	523	1,294	(0)	(102)	479
11月(19)	86	457	123	4	3	467	1,140	(3)	(90)	444
12月(20)	81	541	126	7	5	514	1,274	(10)	(114)	483
1月(20)	86	282	64	1	0	295	728	(2)	(78)	278
2月(18)	26	180	10	0	0	177	393	(0)	(33)	160
3月(21)	53	307	60	4	5	279	708	(6)	(78)	263
合計 (212)	865	4,160	1,378	124	30	4,276	10,833	(2)	(994)	3,978
月平均	72	346	115	10	6	356	903	(2)	(83)	332
1日平均	4.1	19.6	6.5	0.6	0.1	20.2	50.1	(0.1)	(4.7)	18.8

令和2年度

合計 (204日)	774	4,294	1,289	177	42	4,489	11,065	(15)	(1,006)	4,228
月平均	77	429	129	18	4	449	1,107	(1)	(101)	423
1日平均	3.8	20.9	6.3	0.9	0.2	21.9	54	(0)	(5)	20.6

《全体評価》

(1) 乳幼児親子対象行事

新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら開館した。8月、9月には休館という形をとったが、安全に遊べる場所、安心して集えるところと考えると致

し方ない形になった。開館すると来館者は用心深くだが増えてきたことに感謝した。「子育ては楽しいよ」「子育ては一人じゃないよ」を合言葉に、子育てに必要な基本的なことや季節感など、生活に身近なものを取り入れ事業展開してきた。運動やリズムに対しては専門の講師を招き、家庭に持ち帰ってもきょうだいや家族と遊べる技や継続して子育てのアイテムとしてもらえるものを提供してもらった。

夏季の水あそびは中庭を最大限に利用し、新型コロナウイルス感染防止対策や日よけ対策を行い火曜日～金曜日の毎日行った。公共施設のメリットを生かしてクールシェアできることを目的として行った。

(2) 小中高生対象行事

新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら、小中高生が唯一利用できる時間帯(毎週土曜日・長期休校の午後)を有効利用し、子ども達との関わりの場、遊び場とし、安心な居場所、空間、仲間作りに配慮した。対応、内容、形態を考慮した。「おたのしみ工作タイム」は重点目標として力を入れ、子どもたちは学校、年齢を問わず誰でも参加できるよう、また安全かつ簡単にトライしたい気持ちを持てるよう、職員間でアイデアを出し合い、試行錯誤しながら工作を提供した。

工作や遊びの中では「仲間」「興味」や「季節」「工夫」「あそび」「ふれあい」「感謝」などを感じてほしいと願った。

「小学生チャレンジGO!」も小学生が参加できる数少ないチャンスで力を入れた。現代の子どもたちのニーズを探しながら行った。

(3) どなたでも参加対象行事

児童館ガイドラインでは18歳未満のすべての子どもを対象とし、遊びおよび生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもを心身共に健やかに育成することを目的とするという観点から気軽にどなたでも来館してほしいと願う。

来館するだけでも楽しいと感じてもらえるように館内の雰囲気にも工夫を凝らした。館内で明るく楽しく過ごしてもらうために、館内ゲーム「さがしてごらん」を月毎に展開し、老若男女問わず参加してくれる姿が職員の励みとなった。

また挨拶、接し方、相談の受け方などの社会人として職員としての基本的な資質向上にも日々の仕事の中で研鑽した。

3 きくがわ子育て支援センター「たんぽぽ」事業

子育て家庭（これから子育てを始める家庭を含む）の家族の居場所・友達作りの場・相談の場として活用していただき、新型コロナウイルス感染症の対策をした上で、少しでも安心して楽しい子育てができるように支援を行う。また、子どもたちの健やかな成長の支援ができるように、子育て親子の交流の場の提供や講習会を開催し、子育てに関する相談に応じる。

《実践報告》

(1) 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

① 自由来館

新型コロナウイルス感染予防対策をした上で、親子で遊んだりママ友達と情報交換をしたりして、自由にゆったりと過ごす場を提供した。幼稚園・保育園児（3歳以上）には、消毒しやすい貸出おもちゃを用意し遊びの幅を広げるよう配慮した。

② 0歳児親子教室「はじめの一步」

【対象】0歳児親子

【内容】コロナ禍の影響もあり誰もが孤立しがちな状況の中、はじめての子育てをする親子が、子どもとのふれあいや友達になった親子との交流を楽しむとともに、友達づくりや親の情報交換の場となるよう行った。

開催日	活動内容	参加人数
4月28日(水)	親子ヨガ (講師 越水律子)	13組(27人)
5月12日(水)	ベビーマッサージ	15組(30人)
6月15日(火)	おうちパン (講師 瀧本春奈)	14組(29人)
7月8日(木)	ベビードダンス (講師 皆川友紀子)	11組(23人)
9月16日(火)	ベビーマッサージ 新型コロナウイルス感染予防対策のため休館	
10月27日(水)	親子ヨガ (講師 越水律子)	14組(29人)
11月30日(火)	お年賀アート ~ママがカメラマン~	14組(33人)
12月7日(火)	腰痛予防講座 (講師 理学療法士 川合弘基)	11組(24人)
1月26日(水)	親子ヨガ 新型コロナウイルス感染予防対策のため中止	
2月9日(水)	チェーンリングのおもちゃ作り (申込者に材料配布8人分) 新型コロナウイルス感染予防対策のため中止	
3月9日(水)	ベビードダンス 新型コロナウイルス感染予防対策のため中止	

合 計	7 回	92 組 (195 人)
-----	-----	-----------------

令和 2 年度 9 回 106 組 224 人

(2) 子育て等に関する相談、援助の実施

① 子育て相談業務

子育て全般に関する相談窓口として、電話・来館にて相談に応じた。また、来館者に積極的に声掛けをして話しやすい雰囲気をつくるよう配慮し、信頼関係を築き、何気ない会話の中から子育てに対する不安が少しでも楽になるよう努めた。

<相談件数>

(単位:件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来館	17	11	22	13	6	3	15	17	23	16	25	11	179
電話	0	1	0	2	0	9	4	5	1	1	1	0	24

(児童館相談件数と重複)

(令和 2 年度 来館者 81 件 電話 12 件)

<相談内容> 抜粋

○ 発育不安 ○ 育児不安

- ・ トイレトレーニングの進め方が分からない。・ 言葉が遅くて心配。・ 午睡をしないのに、夜寝るのも 22 時ごろにならないと寝てくれない。・ 卒乳ができない。・
- ・ 離乳食の進め方。消毒の仕方。・ 耳の掃除の仕方がわからない。
- ・ 兄弟げんかが激しくて困る。・ 1 日どう過ごせば良いのか、子どもとどう遊べばよいのか。
- ・ 寝ぐずりがひどくなかなか寝てくれない。・ 服をなかなか着てくれない。・ 子どもがあまり泣かないので障害があるか心配。・ 色へのこだわりが強い。・ 斜視かもしれない不安。

○ 家庭での心配事

- ・ 二人目出産時に、上の子の一時保育や保育園などの預け先について。
- ・ 仕事に復帰したいと思っているが、子どもの預け先が決まらない不安。
- ・ 出産・引っ越し・入園と重なり、少し神経質な性格なので心配。
- ・ 夫の転勤の内示が出そう、夫は単身赴任と決めているようだが、母は納得がいかない。子どものこと、家族がバラバラになること、いろいろなことを一緒に考えてほしい。

○ 園での心配事

- ・ 保育園に見学に行きたいがどうすれば良いのか。
- ・ 退職して無職の状態であると保育園は退園になってしまうのか。
- ・ 満 3 歳児保育への入園を考えているが、メリット・デメリットを教えてほしい。
- ・ 幼稚園行っても園の先生と遊びたがる。
- ・ 保育園の持ち物がなくなってしまう。先生に伝えているが、解決しない。

○ その他

- ・ 緊急事態宣言で児童館・支援センターが休館になってしまうと行くところがない。家でどう過ごしたらいいかわからない。
- ・ 児童館・支援センター休館中、相談事が電話対応ではなく、対面で相談したい。

② 子育て相談事業「おしゃべりひろば」

【対象】 0～3歳児親子

【内容】 テーマについてや、親子あそびなどを通して、職員や母親同士の繋がりの中で小さなことでも相談・おしゃべりすることで、気持ちの負担の軽減につながるよう配慮した。

開催日	活 動 内 容	参加人数
5月20日(木)	新聞遊び	15組(31人)
6月23日(水)	食事マナーについて(講師 武藤有美子さん)	10組(21人)
7月14日(水)	廃材工作(いかたこキャッチャー)	13組(26人)
9月29日(水)	新型コロナウイルス感染予防対策のため中止	
10月22日(金)	小麦粉粘土遊び	15組(30人)
11月26日(金)	幼児食と日ごろの食事の備えについて (講師 武藤有美子さん)	15組(30人)
2月8日(火)	ポットン落とし(申込者に材料配布11人分) 新型コロナウイルス感染予防対策のため中止	
3月16日(水)	だるまさんの起き上がりこぼし 新型コロナウイルス感染予防対策のため中止	
合 計 (5回)		68組(138人)

(令和2年度 5回 42組 86人)

- ③ 子育て応援課主催の「要保護児童対策地域協議会」に参加し、支援の内容を協議した。(年12回)
- ④ 健康づくり課主催の「食育連絡会」への参加

(3) 地域の子育て関連情報の提供

託児や子育て支援に関する情報(民間を含む)を集め、自由に持ち帰ってもらった。

(4) 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

「子育てレッスン」

【対象】 0歳～3歳の子を持つ保護者

【内容】 親の子育て力を高める活動、親のリフレッシュ活動、子どもとのふれあいを楽しむ活動を通して子育ての楽しさを実感した。

【託児協力】 更生保護女性の会、民生委員・児童委員

※新型コロナウイルス感染予防対策のため託児は中止する。

開催日	活 動 内 容	参加人数
4月14日(水)	カメラ講座(講師 岩科写真館)	15組(33人)
5月19日(水)	骨盤体操(講師 古池紀匡さん)	14組(29人)
6月8日(火)	親子で運動遊び(講師 村松茂樹さん)	15組(31人)
7月13日(火)	夏の健康管理について(出前講座) (講師 市保健師 水野由香子さん)	15組(31人)

8月27日(金)	ミニ夏祭りごっこ 新型コロナウイルス感染予防対策のため休館	
9月7日(火)	家族で楽しむおうちパン 新型コロナウイルス感染予防対策のため休館	
10月26日(火)	ミニ秋まつりごっこ (各10組入れ替え制)	20組(40人)
11月17日(水)	防災講座 (出前講座) (講師 菊川市危機管理課)	11組(25人)
12月24日(金)	ミニ忘年会ごっこ (各15組入れ替え制)	30組(65人)
1月28日(金)	おうちパン (9月分の振り替え) 新型コロナウイルス感染予防対策のため中止	
2月18日(金)	乳幼児の救急法 (講師 菊川市消防署) 新型コロナウイルス感染予防対策のため中止	
3月10日(木)	ハンドメイド (スクラップブック) 新型コロナウイルス感染予防対策のため中止	
合 計 (7回)		120組(254人)

(令和2年度 10回 153組 312人)

(5) 地域支援活動の実施

移動子育て支援センター「すくすくひろば」

【対象】子育て中の親子、妊婦さん

【内容】各地区センターへ出向き感染症対策をした上で、手遊び、おもちゃ遊び、歌、絵本、制作、ふれあいトーク等を通して子育て支援を行った。各地区センターに訪れることで、市外・県外出身の親にもこの地域を知る良い機会となった。

※新型コロナウイルス感染予防対策のため9月・2月・3月は中止する。

地区センター名	回 数	参加組数	延べ人数
西方地区センター	2	20組	41人
河城地区センター	1	16組	32人
青葉台コミュニティセンター	2	21組	44人
横地地区センター	2	23組	49人
合 計	7	80組	166人

(令和2年度 9回 105組 211人)

(6) 職員研修

開催日	内 容	参加者
7月31日(土)	学研オンライン研修 2021年夏の講習会 0・1・2歳児の主体性を育む こどもロック	平野 石川
10月9日(土)	聖隷クリストファー大学講演会 園や小学校における発達支援	石川

12月8日(水)	社協職員研修 ボスマネジメント研修	石川
12月9日(木)	令和3年度子育て未来マイスター研修	平野
12月17日(金)	令和3年度子育て未来マイスター研修	平野
1月13日(木)	令和3年度子育て未来マイスター研修	平野

《全体評価》

(1) 0歳児親子教室「はじめの一步」

出産後、家にこもりがちな乳児親子に“子育て支援センター”を知ってもらい、第一歩の事業として位置づけて開催している。コロナ禍で、家にこもりがちになってしまうことも多かったようだが、参加することにより母親同士のつながり、社会のつながりを感じてもらい、そこから継続して自由来館へとつながっている。

コロナ禍で子育ての不安も多く、参加した親子には声をかけ信頼関係を築いた結果、育児相談も多く、相談件数も倍になった。また、母親同士をつなげていくことにも心がけ、孤独にならないよう横のつながり作りにも心がけた。

(2) おしゃべりひろば

コロナ禍で8回開催予定も、5回と減ってしまい、思うようにできなかった。親子のふれあいを楽しむ中で、子育ての喜びや不安、悩みを親同士でおしゃべりを通して、すっきりしたり疑問をなげかけてもらい、共感したり、寄り添えるよう心掛けた。事業の回数は減ってしまったが、母親同士がつながっていく場となった。

(3) 子育てレッスン

親のリフレッシュ活動も内容に含まれてはいるが、新型コロナウイルス感染予防対策のため、今年度も託児は中止した。親子で一緒に楽しみ、ふれあいを体験する内容の事業を行った。その他にも、親子あそびを通して子育ての基礎力育む事業を行った。

(4) 移動子育て支援センター「すくすくひろば」

地区センターに出向くことで、地域の事を親子が知るきっかけ作りとして開催したが、コロナ禍ということもあり、地区センターへ出向くよりは、衛生管理のされた子育て支援センターでの事業を開催してほしいという声がかかれた。地区センターで開催すれば、定員人数も満員となり、新しい親子の参加も見られた。

4 おがさ子育て支援センター「ひまわり」事業

子育て家庭(これから子育てを始める方を含む)の家族の居場所・友だち作りの場・相談の場として活用していただき、安心して楽しい子育てが出来るように支援する。

また、子どもたちの健やかな成長の支援ができるように子育て親子の交流の場の提供や講習会を開催し、子育てに関する相談に応じた。

(1) 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

① 自由来館

親子や友だちと一緒に遊んだり、おもちゃを介して遊んだりと子どもと過ごす場の提供をした。職員は様子を見ながら話しかけたり、子どもとのふれあいを楽しみながらお母さん達との距離を縮め、気軽に声をかけてもらえるような雰囲気作りに意識した。新型コロナウイルス感染症予防対策のため館内で楽しんでもらう貸し出しおもちゃは数を制限して提供した。

② コロコロタイム (毎月申込制)

【対象】市内の3ヵ月～1才未満の親子

【日時】毎月1回(8月は除く)午前10時～午前11時

【内容】子育てを楽しめるように様々な角度から情報を提供した。

開催日	活 動 内 容	参加者
4月14日(水)	ベビーマッサージ&親子の手形	13組 26人
5月19日(水)	ひも通しのおもちゃ作り	8組 16人
6月23日(水)	親子ヨガ 講師 越水律子氏	11組 23人
7月7日(水)	アンパンマン風リュックを作ろう	10組 20人
9月1日(水)	新型コロナウイルス感染予防対策のため休館	
10月6日(水)	ハロウィンの寝相アート	1組 2人
11月24日(水)	ベビーマッサージ&リンゴの鏡作り	8組 16人
12月1日(水)	サンタの軍手人形作り	3組 6人
1月19日(水)	親子ヨガ 講師 越水律子氏	7組 15人
2月8日(火)	新型コロナウイルス感染予防対策のため	中止
3月2日(水)	新型コロナウイルス感染防止対策のため	中止
合計	8回開催	61組 124人

(令和2年度 10回開催 206組 444人)

③ ちびっこおたのしみ館 (毎月申込制)

【対象】市内外の未就園児親子

【日時】毎月1回(前期は2部制、後期は1部制)

時間 2部制は9:30～2回、1部制は10:00～1回

【内容】読み聞かせ、手あそび、工作などを通して親子のふれあいやお友だち親子との関わりを楽しんだ。

開催日	活動内容	参加者
5月11日(火)	ダンス(ディズニー体操)・読み聞かせ(とべとべこいのぼり)・工作(お花紙でこいのぼり)・歌(こいのぼり)	12組 25人
6月8日(火)	歌あそび(あめふりくまのこ)・読み聞かせ(おふろでなんでやねん)・工作(フォト時計)	12組 25人
7月6日(火)	歌あそび(たなばたさま) 読み聞かせ(たなばたセブン) 工作(ひこぼし&おりひめ)・ダンス(ディズニー体操)	12組 26人
9月7日(火)	新型コロナウイルス感染予防対策のため休館	
10月5日(火)	手あそび(お寺の和尚さん)・読み聞かせ(ハッピーハロウィン)・工作(段ボールピザ作り・ハロウィンバッグ作り)・ダンス(ディズニー体操)・お土産配布	10組 21人
11月9日(火)	ダンス(ディズニー体操)・手あそび(なべなべそこぬけ)・読み聞かせ(まねまね電車)・工作(電車&風船ボール)	13組 28人
12月7日(火)	ダンス(ディズニー体操)・リズム遊び(タンバリン打ち♪あわてんぼうのサンタクロース)・読み聞かせ(窓からの贈り物)・手あそび(サンタトナカイツリー)・工作(サンタの軍手人形)・歌(あわてんぼうのサンタクロース)・ハンドベル遊び(きらきら星)	12組 24人
1月11日(火)	ダンス(ディズニー体操)・読み聞かせ(だるまさんが)・手あそび(にらめっこしましょ)・工作(きくのん風帽子)・きくのん登場(記念撮影)	12組 24人
2月2日(水)	新型コロナウイルス感染予防対策のため	中止
3月8日(火)	新型コロナウイルス感染予防対策のため	中止
合計	7回開催	83組 173人

(令和2年度 12回開催 196組 403人)

(2) 子育てに関する相談、援助の実施

① 子育て相談業務

子育て全般に対する相談窓口として、電話、来館にて相談に応じた。また、来館者に積極的に声を掛け、多くの見守りの中での子育てをしている安心を感じていただけるように配慮した。休館中は電話での相談は受け付けていた。

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来館	10	5	9	10	4	0	9	8	7	4	6	12	84
電話	0	1	1	0	10	4	0	0	0	0	0	0	16

(児童館相談件数と重複)

(令和2年度 来館者 166件 電話 5件)

その他、「頭と心と体の講座」や「コロコロタイム」で職員が寄り添い、一緒に考え共感したり、アドバイスをを行った。

気になる親子や継続した見守りが必要な親子はその後の来館時も気にしながら声かけを行った。また受けた相談については記録し、職員間で共通理解し保

健師へ繋げた。専門機関へも繋げて対応した。

<相談内容>

子どもの発達や健康について・療育教室や専門機関について・生活習慣について・食生活について・子どもの性格について・入保、入園について・こども園について・待機児童対策について・母親の悩み事について(自分自身のこと・同居の父母とのこと・夫のこと・近隣のこと・自分の子育てについて等)・新型コロナウイルス関係

② 誕生会

【対象】 どなたでも

【日時】 年 12 回 午前 10 時～10 時 30 分

【内容】 お誕生日を祝った。親子で絵本やあそびを楽しむ。

開催日	活 動 内 容	参加者
4月23日(金)	誕生会・絵本の読み聞かせ・シャボン玉	9組 19人
5月26日(水)	誕生会・絵本リトミック・シャボン玉	5組 14人
6月18日(金)	誕生会・絵本の読み聞かせ・シャボン玉	9組 23人
7月16日(金)	誕生会・絵本の読み聞かせ・シャボン玉	23組 53人
8月20日(金)	新型コロナウイルス感染予防対策のため休館	
9月22日(水)	新型コロナウイルス感染予防対策のため休館	
10月15日(金)	8, 9, 10月の誕生会・絵本の読み聞かせ・シャボン玉	10組 24人
11月10日(水)	誕生会・絵本の読み聞かせ・絵本リトミック	14組 33人
12月17日(金)	誕生会・絵本の読み聞かせ・風船あそび・ サンタさんからのプレゼント	7組 17人
1月21日(金)	誕生会・絵本の読み聞かせ・きくのん登場・シャボン玉・風船あそび	7組 18人
2月18日(金)	新型コロナウイルス感染予防対策のため	中止
3月11日(金)	2, 3月の誕生会・絵本の読み聞かせ・シャボン玉	4組 8人
合計	9回開催	88組 209人

(令和2年度 10回開催 88組 194人)

③ 菊川市要保護児童対策地域協議会

乳幼児部会 毎月参加、情報を共有しながら支援を協議した。

(3) 地域の子育て関連情報の提供

① 子育て情報の提供

ア 支援センターだより

イ 子育てに関する国、県、市からのお知らせ

ウ 託児情報・サークル情報など

エ 園の自由来園情報や入園のお知らせ

(4) 子育て及び子育て支援に関する講習会などの実施

① 頭と心と体の講座

【対象】市内の未就園児親子

【日時】年 12 回 午前 10 時～11 時

【内容】在宅育児の親子が子育てのスキルアップのため、講師から話を聞いたり、共に作業をしたりすることにより子育て時間を楽しんだ。

開催日	活 動 内 容	参加者
4月22日(木)	「フォトスノードーム作り」 読み聞かせ・工作・フリートーク	13組 27人
5月20日(木)	「走る本屋さん」 講師 高木久直氏 (高久書店)	11組 25人
6月3日(木)	「子ども・大人の髪型アレンジ」 講師 Nonnohair スタイリスト 三浦教資氏	12組 26人
7月9日(金)	「ライフプランニング& 大人のプラ板キーホルダー作り」 講師 ライフプランナー 大畑達哉氏	11組 23人
8月26日(木)	新型コロナウイルス感染予防対策のため休館	
9月16日(木)	新型コロナウイルス感染予防対策のため休館	
10月28日(木)	「アイロンビーズでキーホルダーを作ろう」 寝相アート・読み聞かせ	4組 8人
11月11日(木)	「フルーツサンドを作ろう」 講師 BakeandCake ぱふ 鷺山智士氏 くすりん にて	8組 14人
12月9日(木)	「クリスマスコンサート」(2部制で行う) ゲスト グリーンシトラスミュージック	16組 40人
1月28日(金)	「食育講座」～乳幼児食について～ 講師 菊川市栄養士 武藤有美子氏 新型コロナウイルス感染予防対策のため	中止
2月17日(木)	「みんなのお肌の悩み」 講師 八木まさ野氏 新型コロナウイルス感染予防対策のため	中止
3月9日(水)	「みんなあつまれ」(人形劇) ゲスト 水ようおはなし会 新型コロナウイルス感染予防対策のため	中止
合計	7回開催	75組 163人

(令和2年度 11回開催 117組 259人)

(5) 地域支援活動の実施

① 職員研修

開催日	内 容	参加者
7月31日(土)	学研「2021夏の講習会」	岡本
11月10日(水)	菊川市社協職員研修会	岡本
12月7日(火)	静岡県西部児童館連絡協議会実技研修会(掛川市役所)	岡本

《全 体 評 価》

新型コロナウイルス感染がこども世代（乳幼児～10代）に多くなり来館者数が極端に減った。それに伴い、来館者および各行事の申込者が減少した。常に安心して利用できるように声掛け、館内消毒および換気に努めた。

普段の何気ない会話を通して来館者との信頼関係を築きコロナ禍での不安や疲れ、子育ての悩み等の相談を聞き取った。「子育ては一人ではないよ」が伝わるように、子育て中の親同士の繋がりを大切に、先輩ママからのアドバイスやかかわりができる仲間づくりに取り組んだ。

職員による1日2回(11:30～、16:00～)の館内一斉消毒のため退館をスムーズに促す事(楽しくて帰りたくない泣く子が増えたことを考慮し)を目的に11:20～、15:50～のディズニー体操を始めた。その結果、退館時の合図となった。「これが楽しみです」と体操を目的に来館する親子の姿が見られた。まん延防止で各種行事が中止になったため、手遊び・絵本の読み聞かせなども発表する機会が減った。よって職員研修も兼ねて3月より体操の前に手遊び・絵本の読み聞かせなども取り入れて行った。